

法学部 50 年の軌跡（年表）

年月日	主なできごと
1960. 4. 1	● 京都市伏見区深草塚本町の敷地を購入し、深草学舎を開設
1966. 6. 21	● 北村貞夫評議員、評議会で法学部設立を提案
9. 6	● 評議会、新学部設立については各教授会にはかり、検討することを決定
1967. 3. 17	● 学内理事会（星野元豊・宮崎円遵・北村貞夫・永田啓恭・佐藤哲英各理事）法学部設立を評議会で提案することを内定
3. 28	● 評議会、新学部設立について審議（4・5審議継続）
4. 7	● 評議会、法学部設立と文学部社会学科の独立を議決
4. 10	● 深草学舎14号館落成
4. 21	● 理事会、評議員会、法学部設立を議決
5. 2	● 評議会、龍谷大学拡充委員会（星野学長・宮崎文学部長・永田経済学部長・北村経営学部長・渡辺静波総務部長）と法学部設立委員会の設置を決定
5. 11	● 龍谷大学拡充委員会、法学部設立委員会に教授会に準ずる権限を与えることを決定
5. 13	● 法学部設立委員会（委員長北村貞夫・委員浅井清信・大阪谷公雄・西村信雄・永田啓恭・北原道彦・芝原隼一・委員補佐中川祐夫・木坂順一郎・助手安武敏夫）
6. 1	● 法学部設立委員会事務局開設（事務長菊池達真）
7. 22	● 法学部設立委員会、法学部開設科目を決定
9. 29	● 法学部設置申請書類を文部省に提出
11. 17	● 法学部設置申請に伴う大学設置審議委員実地視察
11. 29	● 法学部設置申請に伴う私立大学審議委員実地視察
12. 20	● 法学部設置認可内定
1968. 1. 17	● 法学部設立委員会、1968年度開講科目および講義担当者を決定
1. 25	● 法学部設立委員会、法学部長に浅井清信選出。法学部設立懇談会開催（京都タワーホテル）
2. 3	● 法学部設置ならびに法学部設置に伴う寄附行為の変更認可
2. 9	● 1968年度第1次法学部入学試験（志願者1,576名）
2. 18	● 法学部設立委員会、第1次入学試験合否判定
3. 8	● 法学部設立委員会、「法学部履修要項」、クラス担当など決定
3. 21	● 1968年度第2次法学部入学試験（志願者863名）
3. 27	● 法学部設立委員会、第2次入学試験合否判定
4. 1	● 法学部開設（入学定員200名）。・浅井清信・大阪谷公雄・小畑雄治郎・風間鶴寿・木坂順一郎・桑原昌宏・杉本幹夫・高島學司・高林秀雄・田北亮介・中川祐夫・西村信雄・牧謙二・森孝三・安武敏夫着任・浅井清信法学部長に就任・法学部事務局・法学部資料室開設・菊池達真事務長に就任・龍谷大学法学会創立
4. 2	● 教授会、①浅井清信を法学部長に選出することを確認（任期1968.10.31まで）、②法学部設置認可の報告、③法学部教授会規定（第8条を除く）を決定、④法学会会則を決定
4. 12	● 1968年度入学式（600名）
4. 16	● 法学部新入生オリエンテーション
4. 20	● 龍谷大学長兼龍谷大学短期大学長候補者選挙、星野元豊当选
5. 10	● 応援総部集団暴行傷害事件（5.25応援総部解散命令、部員の処分発表）
5. 15	● 木坂順一郎学生部次長に就任
6. 14	● 法学会講演会「龍大法学部がめざすもの」
6. 19	● 法学会研究会、桑原昌宏「現代法への一視覚—労災補償の制度並びに理論とその機能」
6. 29	● 深草学舎15号館落成
7. 1	● 法学会講演会「現代の国際法と国際政治」
7. 10	● 教授会、龍谷大学法学部留学候補者専攻内規を決定
9. 11	● 教授会、龍谷大学法学部長選挙規程を決定（即日施行）
9. 18	● 法学会研究会、牧健二「日本国家起源史研究上の新視覚」
9. 21	● 深草学舎8号館失火により焼失
10. 21	● 法学会講演会「現代社会と大学」
10. 26	● 龍谷大学法学部教科編成に関して合宿討議（～27、関西セミナーハウス）
10. 31	● 『龍谷法学』第1巻第1号創刊
11. 1	● 浅井清信法学部長に就任
11. 13	● 法学会研究会、安武敏夫「不動産登記法第67条の承諾請求権について」
11. 20	● 深草学舎南寮をサークルボックスに転用
11. 25	● 法学会講演会「労働法と教育の接点」

-
- 1968.11.30 ● 菊池達真法学部事務長病気辞任（浅井法学部長、事務長を兼務）
- 12.11 ● 教授会、①法学部教授会規程第8条を決定、②法学部教員選考規程・法学部教員選考手続き細則を決定
- 12.25 ● 法学会研究会、杉本幹夫「C.F.V.ゲルバー国法理論研究」
-
- 1969.1.30 ● 法学会研究会、田北亮介「現代の国家独占資本主義と政治学」
- 1.31 ● 『龍谷法学』第1巻第2号発行
- 2.1 ● 法学会講演会「最近の医療過誤事犯をめぐって」
- 2.5 ● 1969年度法学部第1次入学試験（志願者1,801名）
- 3.10 ● 1969年度法学部第2次入学試験（志願者819名）
- 4.1 ● 池田栄・磯崎辰五郎着任・田北亮介国外留学（カナダ）、高島學司国内留学
- 4.11 ● 1969年度入学式（521名）
- 4.23 ● 吉田弘義法学部事務長に就任
- 4.30 ● 『龍谷法学』第1巻第3・4号発行
- 5.28 ● 法学会研究会、小畑雄治郎「大学問題」
- 6.9 ● 全共闘、6項目の公開質問状を提出し、6月12日の大衆団交を要求
- 6.12 ● 全共闘、第1回大衆団交（6.20第2回、7.2第3回）
- 6.14 ● 全共闘、13号館を封鎖（正午自主解除）。学園紛争はじまる
- 6.15 ● 全教職員集会
- 6.16 ● 大学主催の全学集会
- 6.19 ● 理事会、星野元豊学長の辞任を承認
- 6.23 ● 坂本慶一経営学部長、学長代行に就任
- 6.25 ● 法学会講演会「嵐の中の大学自治」
- 6.26 ● 全共闘、15号館を封鎖
- 7.1 ● 大学管理法案反対スト、深草学舎から円山公園までデモ
- 7.4 ● 学友会中執団交、15号館封鎖解除
- 9.1 ● 一般教育部教授会、文学部教授会から独立
- 9.12 ● 学生デモ隊西本願寺乱入
- 9.22 ● 全共闘第4会大衆団交、団交終了後深草学舎を全面封鎖（10.31第5回大衆団交）
- 10.4 ● 教授会、大宮学舎での講義再開にそなえて臨時時間割作成
- 10.5 ● 二葉憲香文学部長、学長代行に就任
- 10.6 ● 大宮学舎で講義再開
- 10.7 ● 日本労働法学会の当番校となる
- 10.14 ● 学友会中執団交（10.16学友会中執団交）
- 11.11 ● 深草学舎の封鎖解除
- 12.3 ● 高林秀雄、グロチウス学会出席のためイランへ出張（～25）
- 12.20 ● 『龍谷法学』第2巻第1号発行
-
- 1970.2.19 ● 1970年度法学部入学試験（志願者3,166名）
- 3.5 ● 武邑尚邦文学部長、学長代行に就任
- 3.31 ● 深草学舎16号館落成
- 4.1 ● 大阪谷公雄法学部長に就任・谷口知平着任・桑原昌宏国外留学（イギリス）、木坂順一郎国内留学
- 4.14 ● 1970年度入学式（435名）
- 4.21 ● 磯崎辰五郎図書館長に就任
- 5.6 ● 教授会、大学院法学研究科設置調査委員会の設置を決定し、浅井清信・磯崎辰五郎・高林秀雄・中川祐夫・西村信雄を委員に選出
- 6.10 ● 法学会講演会「司法の反動化とその意味」・学友会館落成
- 6.13 ● 全共闘、深草学舎を封鎖（6.15自主解除）
- 7.20 ● 『龍谷法学』第2巻第2・3・4号発行
- 10.12 ● 高林秀雄、ウッドロー・ウイルソン国際学術センター（アメリカ）へ出張（～1971.3.31）
- 11.1 ● 大阪谷公雄法学部長に就任
- 11.9 ● 川崎恵璋文学部長、学長代行に就任
- 11.15 ● 比較法学会の当番校となる
- 11.20 ● 『龍谷法学』第3巻第1号発行
- 12.4 ● 法学会講演会「民主主義の危機－司法の反動化」
-
- 1971.1.20 ● 教授会、法学部長選挙規程の改正を決定 ・『龍谷法学』第3巻第2号発行
- 2.1 ● 小畑雄治郎法学部長に就任
- 2.19 ● 1971年度法学部入学試験（志願者2,682名）
- 3.25 ● 教授会、大学院設置調査委員会を大学院法学研究科設立委員会と改称
- 4.1 ● 繁田實造・永良系二着任
- 4.10 ● 福藤需寛法学部事務長に就任
- 4.13 ● 1971年度入学式（493名）
-

1971. 5. 26 ● 法学会研究会、木坂順一郎「治安維持法反対運動」
6. 2 ● 教授会、大学院法学研究科法律学専攻修士課程設立を評議会に提案決定
6. 17 ● 高林秀雄、ロード・アイランド大学海洋法学会(アメリカ)へ出張(～28)
6. 23 ● 法学会講演会「日本ファシズムの特質—大政翼賛会を中心に」、「この目で見たイギリス労働法「理想化された英国労働法」批判」
・法学会研究会、磯崎辰五郎「統治行為について」
6. 28 ● 評議会、大学院法学研究科法律学専攻修士課程の設置を議決
7. 15 ● 龍谷大学法学部同窓会設立準備委員会結成、委員長に田畑健選出
7. 20 ● 『龍谷法学』第3巻第3・4号発行
7. 23 ● 理事会、大学院法学研究科法律学専攻修士課程の設置を議決
8. 3 ● 遊亀教授学長代行に就任
9. 2 ● 法学部カリキュラム検討委員会の合宿検討会(近江八幡市市町村共催会館長命荘)
10. 7 ● 民主主義科学者協会法律部会秋期大会の当番校となる
10. 11 ● 体育館落成(10.3竣工記念式典)
10. 15 ● 法学会講演会「現代の国際法」
10. 16 ● 国際法学会の当番校となる(～17)
10. 20 ● 『龍谷法学』第4巻第1号発行
10. 27 ● 法学会研究会、森孝三「継続的契約論—戦前の展開を中心に」、繁田實造「最高裁判所長官の国民審査」
11. 8 ● 理事会、大学院法学研究科修士課程完成時における博士課程の設置を了承
11. 12 ● 『龍谷法学』第4巻第2号発行
11. 29 ● 龍谷大学大学院法学研究科法律学専攻修士課程設置協議書を文部省へ提出
12. 20 ● 『龍谷法学』第4巻第3号発行
12. 23 ● 理事会、学費改訂(1972年度新入生より適用)を議決し、発表
1972. 1. 18 ● 法学部学生会の学生大会、学費値上げ反対のため1月20日～2月12日の全面スト議決・共闘会議、夕方から深草学舎正門と東門を封鎖
1. 24 ● 学年末試験の実施延期を告示
1. 31 ● 4回生に学年末試験問題と用紙を発送
2. 7 ● 学友会中執、深草学舎の封鎖解除
2. 8 ● 共闘会議、深草学舎の再封鎖
2. 10 ● 早朝教職員が深草学舎を封鎖解除
2. 14 ● パトロールカー襲撃事件
2. 17 ● 1972年度法学部入学試験(志願者4,227名)
2. 18 ● 大学院法学研究科設立に伴う大学設置審議会大学設置分科会委員の現地視察
3. 5 ● 1～3回生に学年末試験問題と用紙を発送
3. 20 ● 『龍谷法学』第4巻第4号発行
3. 21 ● 1972年度大学院法学研究科修士課程第1次入学試験(合格者2名)
3. 25 ● 1971年度卒業証書授与式中止、法学部のみ卒業証書授与伝達式挙行(卒業生417名)
● 龍谷大学法学部同窓会第1回総会、規約承認、理事選出。祝賀会(京都タワーホテル)
3. 30 ● 大学院法学研究科法律学専攻修士課程の設置認可・第1回法学部同窓会理事会、校友会役員選出
3. 31 ● 東寮の城陽新寮への移転決定(4.15移転完了)
4. 1 ● 大学院法学研究科法律学専攻修士課程開設(学生定員20名) ・中川祐夫国外留学(西ドイツ) ・田畑健同窓会会長に就任
4. 5 ● 研究科委員会、大学院法学研究科長選挙規程が作成されるまでの間、暫定的に小畑法学部長が研究科長を兼任することを承認
4. 6 ● 1972年度大学院法学研究科修士課程第2次入学試験(合格者2名)
4. 18 ● 1972年度入学式(571名。共闘会議の学生式場乱入をはかり教職員が阻止)。午後共闘会議の学生が式場に乱入し、経営学部入学式中止
4. 19 ● 1972年度大学院入学式(法学研究科修士課程4名)・教授会、小畑法学部長は4月30日で辞任し、5月1日以降は高林秀雄が学部長事務取扱として業務に当たることを決定
5. 1 ● 高林秀雄法学部長事務取扱に就任 ・小畑雄治郎内地留学
6. 24 ● 学長候補者選挙(～7.8学長選挙会、武邑尚邦当選)
7. 3 ● 杉本幹夫入院、法学部学生献血をよびかける
7. 25 ● 武邑尚邦龍谷大学長(第10代)兼龍谷大学短期大学部学長に就任
8. 17 ● 5号館の一部火災
- 8下旬 ● 浅井清信、キエフ日ソ協会の招待でソビエトへ出張(～9月中旬)
9. 2 ● 学生会ボックス全焼
9. 16 ● 巡回無料法律相談(～17、高岡市)
9. 21 ● 高林秀雄、法学部長兼大学院法学研究科長に就任
10. 4 ● 研究科委員会、法学研究科博士課程設置準備委員会の設置を決定(委員長 浅井清信・委員 磯崎辰五郎・繁田實造・高林秀雄・西村信雄)
10. 8 ● 田北亮介、インドシナにおけるアメリカ戦争犯罪調査コミッション日本代表としてコペンハーゲンとパリへ出張(～25)
10. 26 ● 1972年度大学院法学研究科修士課程第1次入学試験(合格者なし)
11. 2 ● 文部省法学・政治学視察員による法学部現地視察
11. 11 ● 法学会講演会「日本列島改造と土地問題」

- 1972.12.20 ●『龍谷法学』第5巻1号発行
1973. 2. 7 ● 研究科委員会、大学委員会運営細則を決定
- 2.10 ● 杉本幹夫死去
- 2.13 ● 1973年度法学部入学試験（志願者3,324名）
3. 2 ● 評議会、大学院法学研究科法律学専攻博士課程の設置を議決
- 3.13 ● 1973年度大学院法学研究科修士課程第2次入学試験（合格者2名）
- 3.20 ● 『龍谷法学』第5巻第2・3・4号発行
- 3.23 ● 1972年度卒業証書授与式（卒業生436名） ・ 第2回同窓会総会、第2回同窓会新入会員歓迎祝賀会
- 3.25 ● 桑原昌宏、ハワイ大学へ出張（～4.2）
- 3.31 ● 牧健二退職
4. 1 ● 佐上善和着任・森孝三国内留学
4. 9 ● 1973年度入学式（579名） ・ 1973年度大学院入学式（該当者なし）
- 4.11 ● 法学部新入生フレッシュマン・キャンプ（～12、以降毎年）
- 4.25 ● 法学会研究会、中川祐夫「ドイツ留学より帰って」、佐上善和、永良系二「筑波大学の問題について」
- 4.28 ● 故杉本幹夫教授追悼会、名古屋大学教授長谷川正安「杉本幹夫教授の学問と人柄を偲んで」
- 6.27 ● 法学会研究会、浅井清信「4.25最高裁判所判決について」、桑原昌宏「補論、最高裁判所判決の国際的視野」
- 6.30 ● 深草学舎図書館落成
- 7.20 ● 『同窓会会報』創刊号発行
- 8.25 ● 巡回無料法律相談（～26、広島市）
- 8.26 ● 同窓会広島支部結成
- 8.29 ● 法学部カリキュラム検討会（～31、淡路島の福良国民休暇村うずしお荘）
- 10.12 ● 中川祐夫法学部長兼大学院法学研究科長に就任
- 10.13 ● 日本公法学会の当番校となる（～14）
- 10.16 ● 法学会講演会「私大からみた筑波大学法の問題点」
- 10.25 ● 1974年度大学院法学研究科修士課程第1次入学試験（合格者なし）
11. 1 ● 『龍谷法学』第6巻第1号発行
- 11.17 ● 龍谷大学創立30周年記念式典、深草学舎図書館竣工式
- 11.20 ● 大学院法学研究科博士課程設置協議会を文部省に提出
- 12.11 ● 評議会、龍谷大学学長選挙規程を承認
- 12.21 ● 『龍谷法学』第6巻第2号発行
1974. 2.17 ● 1974年度法学部入学試験（志願者5,159名）
- 3.11 ● 1974年度大学院法学研究科修士課程第2次入学試験（合格者2名）
- 3.20 ● 『龍谷法学』第6巻第3・4号発行
- 3.23 ● 1973年度卒業証書授与式（卒業生354名）、大学院学位授与式（法学修士2名） ・ 第3回同窓会総会、第3回同窓会新入会員歓迎祝賀会
- 3.28 ● 大学院法学研究科法律学専攻博士課程設置認可
4. 1 ● 大学院法学研究科法律学専攻博士課程開設（学生定員15名） ・ 平野武着任 ・ 永良系二国外留学（西ドイツ）、高林秀雄国内留学
・ 増田省三同窓会会長に就任
4. 4 ● 1974年度大学院法学研究科博士課程入学試験（合格者なし）
4. 8 ● 1974年度入学式（453名）
4. 9 ● 1974年度大学院入学式（法学研究科修士課程2名）
- 5.29 ● 法学会研究会、繁田實造・高島学司・中川祐夫・「刑法『改正』の問題点について」
- 6.26 ● 法学会研究会、平野武「靖国神社法案について」
- 7.17 ● カリキュラム検討会（伏見労働セツルメント）
- 7.20 ● 巡回無料法律相談（～21、鹿児島市）
- 7.26 ● カリキュラム検討会（伏見労働セツルメント）
- 8.15 ● 桑原昌宏、国際労働法・社会保障会議等へ出席のためイタリアのトリノへ出張（～9.30）
- 8.24 ● 巡回無料法律相談（～25、広島市）
- 8.29 ● カリキュラム検討会合宿（～30、有馬温泉・有泉閣）
- 9.16 ● 谷口知平、国際比較法学会へ出席のためイランのテヘラン出張（～10.7）
- 9.20 ● 『龍谷法学』第7巻第1号発行
- 9.26 ● 理事会、龍谷大学学長選挙規程を議決 ・ 法学会研究会、田北亮介「現実主義者の外交論批判—多極構造論をめぐって—」
- 10.10 ● 『同窓会会報』第2号発行
- 10.15 ● 学生生活指導会議、新中執（委員長山上郁夫）を学友会の代表として認定することを決定
- 10.19 ● 日本国際政治学会の当番校となる（～20）
- 10.24 ● 1975年度大学院法学研究科修士課程第1次入学試験（合格者なし）
11. 1 ● 千葉乗隆文学部長、学長事務取扱に就任 ・ 龍谷大学宗教学研究科設置
- 11.19 ● 学長選挙、学費改定問題がからみ学長選出ならず（～12.20）
- 11.21 ● 木坂順一郎法学部長兼大学院法学研究科長に就任

- 1974.12.14 ● 全学協議会、学費改訂問題をめぐり決裂(社会福祉会館)・評議会、学費改定(1975年度新入生よりスライド制適用)と龍谷大学12年計画を議決(12.18理事会議決)
- 12.19 ● 学費改定問題をめぐり学内混乱
- 12.20 ● 『龍谷法学』第7巻第2号発行
1975. 1.13 ● 一部学生、学年末試験粉碎を叫んで各学部事務室へ乱入
- 1.16 ● 学費改訂に関する説明会
- 1.17 ● 学生大会、学費値上げ白紙撤回・学年末試験阻止・3月31日までスト権確立を決議。一部学生、深草学舎正門と東門を封鎖(1.24教職員で封鎖解除)
- 1.18 ● 学年末試験をレポート試験とすることを発表
- 2.17 ● 1975年度法学部入学試験(志願者5,378名)
- 2.24 ● 繁田實造、ヨーロッパへ出張(～3.14)
- 3.10 ● 1975年度大学院法学研究科修士課程第2次入学試験(合格者4名)
- 3.11 ● 1975年度大学院法学研究科博士後期課程入学試験(合格者2名)
- 3.20 ● 研究科委員会、法学研究科長選挙規程を決定・『龍谷法学』第7巻第3・4号発行
- 3.30 ● 1974年度卒業証書授与式(卒業生380名)、大学院学位記授与式(法学修士1名)・第4回同窓会総会、第4回同窓会新入会員歓迎祝賀会
4. 1 ● 田北亮介国内留学
4. 4 ● 桑原昌宏、グアム大学へ出張(～8)
4. 7 ● 谷口知平、家族法会議出席のためベルリンへ出張(～13)
- 4.14 ● 1975年度入学式(479名)
- 4.15 ● 1975年度大学院入学式(法学研究科修士課程2名、博士後期課程2名)
- 4.23 ● 研究科委員会、研究指導要項を決定
- 4.24 ● 磯崎辰五郎大学院法学研究科長に就任
5. 3 ● 繁田實造国外留学(イギリス)
- 5.28 ● 法学会講演会「独禁法改正の現状と問題点」・法学会研究会、大阪市立大学教授富山康吉「独禁法改正の課題と現状」・合気道部事件(6.1法学部1回生松田龍夫死去)
6. 1 ● 谷口知平図書館長に就任・法学会研究会、牧謙二「邪馬台国の研究」
- 6.26 ● 学生生活指導会議、合気道部無期活動停止処分決定(7.4幹部8名の処分言渡し)
- 7.19 ● 巡回無料法律相談(～20、札幌市)
8. 1 ● 桑原昌宏、フルブライト交換研究生としてアメリカへ出張(～10.31)
- 8.23 ● 巡回無料法律相談(～24、徳島市)・同窓会徳島支部結成
- 9.25 ● 評議会、入学定員増(文290→390、経300→350、営300→350、法200→350)を議決(9.26理事会議決、9.30学生定員変更届を文部省に提出)
- 10.20 ● 『龍谷法学』第8巻第1号発行
- 10.29 ● 法学会研究会、田北亮介「キッシンジャー外交と政治的現実主義」
- 10.30 ● 1976年度大学院法学研究科修士課程第1次入学試験(合格者1名)
11. 1 ● 中川浩文文学部長、学長事務取扱に就任
11. 7 ● 法学会講演会および法学会研究会、東京都立大学総長 沼田稲次郎「官公労働者のスト権回復について」
- 11.26 ● 法学会研究会、桑原昌宏「アメリカ官公労使関係法の現状—ストライキを中心に」
- 12.10 ● 『同窓会会報』第3号発行
- 12.20 ● 『龍谷法学』第8巻第2号発行
1976. 2. 4 ● 理事会、松田六助・松田芳江による龍谷大学にたいする逸失利益および慰藉料請求民事訴訟について応訴決定(合気道部事件訴訟)
- 2.18 ● 1976年度法学部入学試験(志願者4,289名)
- 2.20 ● 『龍谷法学』第8巻第3・4号発行
- 2.24 ● 教授会、法学部長選挙規程改正を決定
- 2.27 ● 評議会、学長選挙に関する臨時措置規程を議決(3.2理事会議決)
- 2.28 ● 入学定員増認可(200名→350名)
3. 9 ● 学長選挙会、二葉憲香当選(京都ロイヤルホテル)
- 3.11 ● 1976年度大学院法学研究科修士課程第2次入学試験(合格者2名)
- 3.12 ● 二葉憲香龍谷大学長(第11代)兼龍谷大学短期大学部学長に就任・1976年度大学院法学研究科博士後期課程入学試験(合格者1名)
- 3.20 ● 1975年度卒業証書授与式(卒業生472名)、大学院学位記授与式(法学修士1名)
● 第5回同窓会総会、第5回同窓会新入会員歓迎祝賀会
- 3.23 ● 佐上善和国外留学(西ドイツ)
- 3.31 ● 磯崎辰五郎退職
4. 1 ● 小畑雄治郎法学部長に就任・西村信雄法学研究科長に就任・浅井清信社会科学研究所長に就任・石井幸三着任・安武敏夫国内留学・法学部入学定員200名から350名に変更・下岡周之同窓会会長に就任
4. 8 ● 1976年度入学式(375名)
4. 9 ● 1976年度大学院入学式(法学研究科修士課程3名、博士後期課程1名)
- 5.10 ● 飯田真法学部事務長に就任
- 5.26 ● 法学会研究会、磯崎辰五郎「吉村正『現行憲法の矛盾』について」、繁田實造「イギリスの陪審論議について」

1976. 6. 22 ● 龍谷大学宗教法研究会（編集代表谷口知平）『宗教法入門』（新日本法規出版株式会社）刊行
6. 28 ● 法学会講演会「大阪空港公害訴訟について」
6. 30 ● 法学会研究会、西村信雄「尊属殺重罰規程の違憲性—『家族法』民主化のための考察—」
7. 12 ● 龍谷大学の将来像に関する法学部討論会（～13、京都府農協会館）
7. 13 ● 教授会、1977年度入学試験より若干の派立学校卒業生を対象に推薦入学制度（14名以内）採用を決定
7. 18 ● サークルボックス（旧南寮およびプレハブ）廃止
8. 7 ● 巡回無料法律相談（～8、松江市）
8. 10 ● 紫朋館落成
8. 21 ● 巡回無料法律相談（徳島市）
8. 22 ● 巡回無料法律相談（小松島市）
9. 15 ● 『龍谷法学』第9巻第1号発行
9. 29 ● 研究科委員会、大学院学則の改正を決定 ・法学会研究会、高林秀雄「米国200カイリ漁業水域法の問題点」
11. 10 ● 『同窓会会報』第4号発行
11. 17 ● 法学会研究会、永良系二「私立学校振興助成法について」
12. 11 ● 法学部推薦入学試験（合格者11名）
12. 20 ● 『龍谷法学』第9巻第2号発行
-
1977. 1. 26 ● 研究科委員会、カリキュラムの改正を決定
2. 18 ● 1977年度法学部入学試験（志願者5,375名）
3. 3 ● 評議会、龍谷大学学長選挙規程および学長解任請求規定を議決（3.9理事会議決）
3. 10 ● 1977年度大学院法学研究科博士後期課程入学試験（合格者なし）
3. 11 ● 1977年度大学院法学研究科修士課程入学試験（合格者1名）
3. 12 ● 桑原昌宏、グアム大学へ出張（～16）
3. 15 ● 『龍谷法学』第9巻第3・4号発行
3. 23 ● 1976年度卒業証書授与式（卒業生492名）、大学院学位記授与式（法学修士1名）
● 第6回同窓会総会、第6回同窓会新入会員歓迎祝賀会
3. 26 ● 学長選挙会、二葉憲香当選
4. 1 ● 二葉憲香学長に就任 ・浅井清信法学研究科長に就任 ・上田勝美・武久征治着任・高島學司国内留学 ・特別研修講座矯正課程開講
4. 7 ● 1977年度入学式（452名）
4. 8 ● 1977年度大学院入学式（法学研究科修士課程1名）
4. 26 ● 平野武国外留学（フランス）
6. 15 ● 教授会、司法課程の開設を決定
6. 20 ● 龍谷大学宗教法研究会『宗教法講座』第1号創刊
6. 22 ● 法学部講演会「米国の法学教育について」
7. 16 ● 巡回無料法律相談（新南陽市） ・同窓会山口支部結成
7. 17 ● 巡回無料法律相談（山口市）
7. 18 ● 桑原昌宏、アメリカへ出張（～8.31）
8. 15 ● 『龍谷法学』第10巻第1号発行
8. 20 ● 巡回無料法律相談（亀岡市）
10. 1 ● 特別研修講座司法課程開講 ・龍谷講座開講
10. 8 ● 全国憲法研究会の当番校となる
11. 12 ● 法学部創立10周年記念講演会、記念植樹および祝賀会（京都ロイヤルホテル）
11. 20 ● 『龍谷法学』第10巻第2号発行
11. 30 ● 法学会研究会、上田勝美「信教の自由と政教分離の原則—津地鎮祭訴訟最高裁判所判決を素材にして—」
12. 10 ● 法学部推薦入学試験（合格者6名） ・『同窓会会報』第5号発行
-
1978. 1. 25 ● 『龍谷法学』第10巻第3号発行
2. 17 ● 1978年度法学部入学試験（志願者4,998名）
3. 1 ● 『龍谷法学』第10巻第4号発行
3. 10 ● 1978年度大学院法学研究科博士後期課程入学試験（合格者2名）
3. 11 ● 1978年度大学院法学研究科修士課程入学試験（合格者なし）
3. 15 ● 法学会研究会、繁田實造「いわゆる『弁護人抜き裁判』法案の問題について」
3. 23 ● 1977年度卒業証書授与式（卒業生394名）、大学院学位記授与式（法学修士1名） ・第7回同窓会総会、会長に北村實選出、第7回同窓会新入会員歓迎祝賀会
4. 1 ● 繁田實造法学部長に就任 ・風間鶴寿大学院法学研究科長に就任 ・高林秀雄図書館長に就任 ・石井幸三外国留学（イギリス）、木坂順一郎国内留学
4. 7 ● 1978年度入学式（425名） ・1978年度大学院入学式（博士後期課程2名）
5. 1 ● 高林秀雄図書館長に就任
5. 24 ● 法学会研究会、桑原昌宏「米国公務員スト権判例理論の展開—名古屋中郵事件最高裁判決批判の素材—」
5. 25 ● 矯正課程研究会（代表繁田實造）『矯正講座』創刊号発行

1978. 7. 10 ●『同窓会報』第6号発行
 7. 22 ●巡回無料法律相談(～23、羽島市)
 7. 26 ●矯正課程、香港矯正施設視察(～29)
 8. 15 ●『龍谷法学』第11巻第1号発行
 8. 26 ●巡回無料法律相談(宇治市)
 9. 1 ●桑原昌宏国外留学(アメリカ)・法学部カリキュラム研修会(～3)
 11. 8 ●法学部特別講義、滋賀県司法書士会副会長長田正明「司法書士の社会的使命と司法書士法の改正」
 11. 9 ●文部省実地視察、法学・政治学関係学部の改善充実について(視察:小山昇、原田鋼)
 11. 15 ●『龍谷法学』第11巻第2号発行
 11. 22 ●法学会講演会、「弁護士抜き裁判法案について」
 11. 29 ●法学部特別講義、名古屋大学教授長谷川正安「現代公法学の問題状況」
 12. 9 ●法学部推薦入学試験(合格者9名)
1979. 2. 18 ●1979年度法学部入学試験(志願者5,329名)
 3. 8 ●1979年度大学院法学研究科博士後期課程入学試験(合格者3名)
 3. 9 ●1979年度大学院法学研究科修士課程入学試験(合格者1名)
 3. 15 ●『龍谷法学』第11巻第3・4号発行
 3. 23 ●1978年度卒業証書授与式(卒業生367名)、大学院学位記授与式(法学修士4名)・第8回同窓会総会、第8回同窓会新入会員歓迎祝賀会
 3. 24 ●評議会、一般教育部の改組・分属を議決
 3. 27 ●法学部研究室15号館から紫英館4階に移転
 4. 1 ●谷口知平大学院法学研究科長に就任・杉村敏正・石田徹着任
 4. 4 ●総合棟竣工記念式典
 4. 16 ●1979年度入学式(470名)
 4. 17 ●1979年度大学院入学式(修士課程1名、博士後期課程3名)
 4. 19 ●上田勝美国外留学(アメリカ)
 5. 4 ●法学部特別講義、香港矯正局長T.ガーナー「香港矯正事情について」
 5. 11 ●全学協議会、入寮募集停止に伴う新入生の保障等について討議
 5. 12 ●日本刑法学会開催(～13)
 5. 21 ●龍谷大学法学部宗教法研究会編『宗教法研究』第1輯発行
 6. 2 ●紫英館竣工式、記念祝賀会
 6. 20 ●『龍谷法学』第12巻第1号発行
 7. 17 ●評議会、校地拡充計画を承認
 7. 19 ●教授会、一般教育部の改組・分属を承認
 7. 28 ●巡回無料法律相談(～29、広島市)
 8. 1 ●4月1日付分属辞令を交付(嬰木義彦・平秀道・松原廣志・大崎徹・辻田蒸治・桂文子・中川法城・亘甫・山内貞男・柴垣芳太郎・窪田通雄・東文麿)
 8. 9 ●第2回龍谷大学の将来像について法学部内討議(～10)
 9. 1 ●第2回龍谷大学の将来像について法学部内討議(～2)
 9. 8 ●巡回無料法律相談(宝塚市)
 9. 20 ●教授会、新構成メンバーで開催・『龍谷法学』第12巻第2号発行
 9. 27 ●理事会、校地拡充を承認
 10. 6 ●日本私法学会開催(～7)
 10. 24 ●法学会研究会、桑原昌宏「危険業務拒否権に関する日米労働法」
 10. 26 ●法学部特別講義、法務省矯正局参事官朝倉京一「刑事政策の新動向と矯正」
 11. 14 ●法学部特別講義、滋賀県司法書士会副会長長田正明「不動産登記と司法書士業務」
 11. 28 ●法学会講演会「刑法175条(わいせつ罪)と表現の自由」
 12. 1 ●法学部推薦入学試験(合格者12名)
 12. 4 ●法学部特別講義、公害評論家アイリーン・スミス「日本の公害・アメリカの公害」
 12. 12 ●法学会研究会、石井幸三「戦後30年間の最高裁の『公共の福祉』概念の用い方を通して最高裁の法思考」
 12. 20 ●『龍谷法学』第12巻第3号発行
1980. 1. 16 ●西村信雄退職記念特別講義「戦後日本の民主化と親子関係法」
 1. 30 ●法学会研究会、永良系二「社会保障と行政法学」
 2. 8 ●平野義太郎死去
 2. 17 ●1980年度法学部入学試験(志願者7,703名)
 2. 20 ●『同窓会会報』第7号発行
 3. 11 ●1980年度大学院法学研究科博士後期課程入学試験(合格者なし)
 3. 12 ●1980年度大学院法学研究科修士課程入学試験(合格者なし)
 3. 20 ●『龍谷法学』第12巻第4号発行

1980. 3. 23 ● 1979年度卒業証書授与式（卒業生321名）、大学院学位記授与式（法学修士1名） ・ 第9回同窓会総会、会長に下岡周之を選出、第9回同窓会新入会員歓迎祝賀会
3. 31 ● 西村信雄・高林秀雄・桑原昌宏・佐上善和退職
4. 1 ● 小畑雄治郎法学部長に就任 ・ 大阪谷公雄大学院法学研究科長に就任 ・ 川端正久・萬井隆令着任 ・ 武久征治国外留学（ドイツ）、森孝三国内留学
4. 7 ● 1980年度入学式（440名） ・ 1980年度大学院入学式（該当者なし）
5. 19 ● 法学部特別講義、東京大学社会科学研究所教授渡辺洋三「科学としての法律学」
5. 20 ● 『龍谷法学』第13巻第1号発行
6. 25 ● 法学会研究会、石田徹「パーソンズ理論と『現代デモクラシー』」
7. 5 ● 法学部特別講義、香港矯正局長T.ガーナー「受刑者の類型と処遇について」
7. 12 ● 巡回無料法律相談（城陽市）
7. 19 ● 矯正課程 ハワイ矯正施設視察（～26）
9. 1 ● 『龍谷法学』第13巻第2号発行
9. 6 ● 巡回無料法律相談（～7、徳島市）
9. 13 ● 法学部のカリキュラム、学生指導、大学院問題について学部内討議（～15）
9. 20 ● 『同窓会会報』第8号発行
9. 24 ● 法学会研究会、萬井隆令「職場における男女平等一判例の到達点一」
10. 22 ● 法学会研究会、矯正課程講師本橋達「昨今の矯正事情について」
11. 26 ● 法学会講演会「国籍法と女性の人権」
12. 1 ● 『龍谷法学』第13巻第3号発行
12. 6 ● 法学部推薦入学試験（合格者13名）
12. 10 ● 法学部研究会、上田勝美「憲法改正と憲法の変遷について」
-
1981. 1. 28 ● 法学会研究会、川端正久「当世アフリカ事情」
2. 13 ● 1981年度法学部入学試験（志願者4,509名）
2. 26 ● 1981年度大学院法学研究科博士前期（修士）課程入学試験（合格者2名）
2. 27 ● 1981年度大学院法学研究科博士後期課程入学試験（合格者1名）
3. 20 ● 『龍谷法学』第13巻第4号発行
3. 23 ● 1980年度卒業証書授与式（卒業生420名）、大学院学位記授与式（該当者なし） ・ 第10回同窓会総会、第10回同窓会新入会員歓迎祝賀会
4. 1 ● 杉村敏正大学院法学研究科長に就任 ・ 田中則夫・本間靖規着任 ・ 石田徹国外留学（アメリカ）、永良系二国内留学、松原廣志国内留学 ・ 二葉憲香龍谷大学長兼龍谷大学短期大学部学長に再任
- 『Law and Politics—An Introduction—』発行（以後毎年発行）
4. 6 ● 1981年度入学式（529名）
4. 7 ● 1981年度大学院入学式（修士課程1名、博士後期課程1名）
4. 10 ● 法学部カリキュラム検討委員会開催
5. 20 ● 法学部特別講義、トロント大学教授C.B.マックファーソン「20世紀後半における人権問題」
5. 27 ● 法学会講演会「LEGAL MIND」
6. 1 ● 『龍谷法学』第14巻第1号発行
6. 12 ● 法学部特別講義、元京都南労働基準監督署長松井義雄「労働基準監督行政の現状と問題点」
6. 24 ● 法学会研究会、武久征治「西ドイツ共同決定法をめぐる最近の議論」
7. 8 ● 法学会研究会、森孝三「契約と経済的効果」
7. 13 ● マスタープラン（12カ年計画後半期）について法学部討議（～14）
7. 25 ● 巡回無料法律相談（～26、福井市）
8. 28 ● 法学部カリキュラム検討（拡大）委員会
8. 30 ● 法学部カリキュラム検討会（～9.1）
9. 1 ● 『龍谷法学』第14巻第2号発行
9. 5 ● 巡回無料法律相談（宇治市）
9. 30 ● 法学会研究会、田中則夫「新国際経済秩序と海洋法」・『同窓会会報』第9号発行
10. 14 ● 法学会講演会「世界平和と日本のすすむべき道」
10. 19 ● 法学部特別講義、弁護士R.イノマン「西ドイツにおける政治と憲法」
10. 21 ● 教授会、法学部カリキュラム改正・提案を承認
10. 28 ● 法学会研究会、上田勝美「有事立法と憲法」、田北亮介「国際情勢と安保問題」
10. 31 ● 竹下義樹（1974年度卒業）司法試験合格
11. 18 ● 法学会研究会、本間靖規「法人論と訴訟法」
11. 21 ● 同窓会10周年記念祝賀会
12. 1 ● 『龍谷法学』第14巻第3号発行
12. 5 ● 法学部推薦入学試験（合格者15名）
12. 16 ● 法学会研究会、浅井清信「法学部創設当時をふりかえって」

1982. 1. 27 ● 法学会研究会、谷口知平「空港判決について」
2. 8 ● 南大日グラウンド起工式
2. 14 ● 1982年度法学部入学試験(志願者6,125名)
2. 25 ● 1982年度大学院法学研究科博士前期(修士)課程入学試験(合格者2名)
2. 26 ● 1982年度大学院法学研究科博士後期課程入学試験(合格者1名)
3. 23 ● 1981年度卒業証書授与式(卒業生368名)、大学院学位記授与式(法学修士1名) ・ 第11回同窓会総会、会長に増田省三選出、第11回同窓会新入会員歓迎祝賀会 ・ 『龍谷法学』第14巻第4号発行
3. 31 ● 池田栄退職 ・ 寮廃止
4. 1 ● 安武敏夫法学部長に就任 ・ 小畑雄治郎大学院法学研究科長に就任 ・ 高島學司図書館長に就任 ・ 金東勲着任 ・ 川端正久国外留学(タンザニア)、萬井隆令国内留学 ・ 新カリキュラム実施(8部門制から4部門制へ)
4. 5 ● 1982年度入学式(501名)
4. 6 ● 1982年度大学院入学式(修士課程2名、博士後期課程1名)
5. 18 ● 評議会、マスター・プラン第1次実施案提案
5. 24 ● 法学会講演会「国民の教育権と国家の教育権—教科書裁判をめぐる—」
5. 26 ● 法学会研究会、石井幸三「法理論家としてのベンタム」
6. 1 ● 『龍谷法学』第15巻第1号発行 ・ 森孝三社会科学研究所長に就任
7. 24 ● 巡回無料法律相談(～25、福山市)
8. 21 ● 矯正課程 香港・シンガポール矯正施設視察(～27)
9. 1 ● 最近の法学部入試状況と今後の課題について法学部討議(～2) ・ 『龍谷法学』第15巻第2号発行
9. 5 ● 法学会特別研究会、マンハイム大学教授B.シュエネマン「現代法理論にてらした罪刑法定主義の原則」
9. 12 ● 巡回無料法律相談(宇治田原町)
9. 27 ● 法学部特別講義、フライブルク大学教授P.シュレヒトリーム「ヨーロッパ統一売買法の現状と課題」
9. 29 ● 法学会研究会、永良系二「現行行政法と『行政改革』」
10. 2 ● 講堂(礼拝堂)、教室B棟(紫明館)起工式
10. 13 ● 法学会講演会「恵庭・長沼裁判の20年—平和憲法の身近さと普遍性を考える—」
10. 14 ● 法学会特別研究会、ウィーン大学教授H.W.ファッシング「オーストラリアにおける訴訟改革」
10. 23 ● 法学部推薦入学試験(合格者18名)
12. 1 ● 『龍谷法学』第15巻第3号発行
12. 15 ● 法学会研究会、金東勲「人権の国際的保障」
-
1983. 2. 15 ● 1983年度法学部入学試験(志願者5,776名)
2. 22 ● 学長選挙会、千葉乗隆当選
2. 25 ● 1983年度大学院法学研究科博士前期(修士)課程入学試験(合格者2名)
3. 3 ● 1983年度大学院法学研究科博士後期課程入学試験(合格者1名)
3. 19 ● 『龍谷法学』第15巻第4号発行
3. 23 ● 1982年度卒業証書授与式(卒業生440名)、大学院学位記授与式(法学修士1名) ・ 第12回同窓会総会、第12回同窓会新入会員歓迎祝賀会
3. 31 ● 浅井清信・大阪谷公雄退職
4. 1 ● 千葉乗隆龍谷大学長(第12代)兼龍谷大学短期大学部学長に就任 ・ 木坂順一郎法学研究科長に就任 ・ 杉村敏正龍谷大学法学会会長に就任 ・ 西尾幸夫・松岡久和・源重浩着任 ・ 嬰木義彦文学部へ移籍 ・ 本間靖規国外留学(西ドイツ)、繁田實造国内留学
4. 5 ● 1983年度入学式(561名)
4. 6 ● 1983年度大学院入学式(修士課程1名、博士後期課程1名)
4. 25 ● 法学部講演会「Some Misconceptions About American Legal System」
5. 1 ● 前田正信法学部事務長に就任
6. 1 ● 『龍谷法学』第16巻第2号発行
6. 8 ● 法学会研究会、萬井隆令「人事慣行の法理」
7. 6 ● 法学会研究会、川端正久「タンザニア—最後のニエレレ政権—」
8. 27 ● 巡回無料法律相談(～28、徳島市)
10. 1 ● 巡回無料法律相談(宇治市)
10. 4 ● 法学会特別研究会、ヨーロッパ議会議員J.ペリカン「ヨーロッパ社会主義の現状と展望」
10. 5 ● 大学院法学研究科委員会、博士前期(修士)課程の目的を幅広い法曹人の養成とする、入学試験科目を変更するなどを内容とする大学院学則改正案の骨子を決定
10. 12 ● 法学部講演会「大学の『出口』の問題について」
10. 14 ● 法学部講演会、名古屋大学教授松井芳郎「現代の国際関係と自決権」
10. 19 ● 法学会研究会、西尾幸夫「経済法の域外適用と会社法」
10. 23 ● 1984年度推薦入学試験(合格者14名)
10. 31 ● 山口芳子(1976年度卒業)司法試験合格
11. 9 ● 法学部講演会「司法書士を目指す諸君へ」
11. 16 ● 大学院法学研究科委員会、大学院学則改正を1985年度入学生から適用することを決定 ・ 法学会講演会、弁護士伊多波重義「冤罪—刑事再審問題の理論と実務—」

- 1983.11.25 ●『宗教法研究』第5輯発行
12. 1 ●『龍谷法学』第16巻第3号発行
1984. 1.11 ●法学部講演会「宗教法制度の成立と変遷」
- 1.25 ●大学院法学研究科委員会、龍谷大学研究生制度に関する大学院学則改正案を決定（1984年度から実施）
- 2.15 ●1984年度法学部入学試験（志願者8,085名）
- 2.25 ●1984年度大学院法学研究科博士前期（修士）課程入学試験（合格者1名）
3. 3 ●1984年度大学院法学研究科博士後期課程入学試験（合格者なし）
3. 7 ●大学院法学研究科委員会、1985年度から大学院研究科長の任期を事実上2年とすることを決定
- 3.19 ●『龍谷法学』第16巻第4号発行
- 3.23 ●1983年度卒業証書授与式（卒業生375名）、大学院学位授与式（修士課程1名） ・第13回同窓会総会、第13回同窓会新入会員歓迎祝賀会
- 3.31 ●吉田次郎退職
4. 1 ●高島學司法学部長に就任 ・中川祐夫大学院法学研究科長に就任 ・櫻井龍彦着任 ・田中則夫国外留学（イギリス）、平野武国内留学、紫垣芳太郎国内留学
4. 2 ●熊谷開作着任
4. 5 ●1984年度入学式（422名）
4. 6 ●1984年度大学院入学式（修士課程1名）
- 5.30 ●法学会研究会、松岡久和「不動産二重譲渡紛争について一判例の分析を中心にー」
6. 1 ●『龍谷法学』第17巻第1号発行
- 6.18 ●法学部講演会「アメリカ家族法の変遷」
- 6.27 ●法学会研究会、本間靖規「西独ヴェルツブルク大学の法学教育」
- 7.21 ●巡回無料法律相談（～22、大分市）
- 7.27 ●矯正課程、九州矯正施設視察（～31）
9. 1 ●『龍谷法学』第17巻第2号発行
9. 8 ●巡回無料法律相談（守山市）
- 9.19 ●法学部講演会「女子労働者の現状と雇用機会均等法案」
- 9.26 ●法学会研究会、小畑雄治郎「商法改正案の視点」
- 10.13 ●1984年度9月卒業証書授与式（卒業生14名）
- 10.24 ●法学会特別研究会、ダルエスサラーム大学教授 A.H. チェ・ムボンダ「ザンジバルの運命」
- 10.28 ●1985年度推薦入学試験（合格者64名）
- 11.21 ●教授会、1985年度から演習を選択科目制として、1983年度以後の入学生から適用することを決定 ・法学会講演会「情報公開と地方自治ー知る権利とプライバシー」
- 11.22 ●上野永正法学部事務長に就任
12. 1 ●『龍谷法学』第17巻第3号発行
1985. 1.31 ●法学会研究会、熊谷開作「日本人の裁判ざらいということについて」、上田勝美「'82中国憲法と現実」
2. 3 ●1985年度論文入学試験（全学部実施）（志願者565名）
- 2.12 ●1985年度法学部一般入学試験（志願者4,105名）
- 2.23 ●1985年度大学院法学研究科博士前期（修士）課程入学試験（合格者2名）
3. 2 ●1985年度大学院法学研究科博士後期課程入学試験（合格者1名）
- 3.19 ●『龍谷法学』第17巻第4号発行
- 3.23 ●1984年度卒業証書授与式（卒業生421名）、大学院学位記授与式（修士課程2名） ・第14回同窓会総会、第14回同窓会新入会員歓迎祝賀会
- 3.25 ●『宗教法研究』第6輯発行
- 3.31 ●風間鶴寿退職
4. 1 ●中川祐夫大学院法学研究科長に再任 ・脇田滋着任 ・金東勲国外留学（イギリス）、石井幸三国内留学
4. 5 ●1985年度入学式（456名）
4. 6 ●1985年度大学院入学式（博士前期課程8名、博士後期課程1名）
- 5.18 ●第1回龍谷大学洋上セミナー（～24、中国上海市訪問）
- 5.29 ●法学会研究会、脇田滋「労働者派遣法について」
6. 1 ●『龍谷法学』第18巻第1号発行
6. 3 ●中国社会科学院経済法規視察団来学し、教員との懇談会開催
- 6.19 ●法学部教授会有志「国家機密法案に反対する声明」を発表
- 6.26 ●法学会研究会、平野武「日本学者としてのシュタイン」
7. 3 ●教授会、1986年4月1日から2000年3月31日までのあいだ、法学部臨時入学定員増を100名とすることを決定
- 7.20 ●巡回無料法律相談（～21、鹿児島市）
- 8.20 ●矯正課程、四国矯正施設視察（～23）
9. 2 ●『龍谷法学』第18巻第2号発行
9. 4 ●千葉乗隆学長、「第2次長期計画実施ならびに検討課題について」を全学教職員に配布
9. 7 ●巡回無料法律相談（奈良市）

1985. 9. 24 ● 法学部講演会「分子系統学からみたヒトの進化」
 9. 25 ● 法学会研究会、田中則夫「非核三原則と国連海洋法条約の両立可能性—核積載軍艦の領海通航をめぐる—」
 10. 1 ● 溜池良夫着任
 10. 5 ● 1985年度9月卒業証書授与式(卒業生4名)
 10. 26 ● 1986年度推薦入学試験(合格者71名) ・ 1987年度大学院法学研究科博士前期(修士)課程入学試験(合格者7名)
 11. 5 ● 千葉乗隆学長、「第2次長期計画ならびに検討課題について」を全学教職員に配布
 11. 6 ● 教授会、1986年度から専任教員担当の専門講義科目を原則としてセメスター制で実施することを決定
 11. 13 ● 法学会講演会「スパイ防止法案をめぐる一言論の自由を守るために—」
 11. 18 ● 法学部講演会「外国人から見た日本の矯正事情」
 12. 2 ● 『龍谷法学』第18巻第3号発行
1986. 2. 1 ● 1986年度外国人留学生入学試験
 2. 2 ● 1986年度論文入学試験(志願者567名)
 2. 12 ● 1986年度法学部一般入学試験(志願者3,856名)
 2. 24 ● 1986年度大学院法学研究科博士前期(修士)課程入学試験(合格者3名)
 3. 1 ● 1986年度大学院法学研究科博士後期課程入学試験(合格者1名)
 3. 3 ● 法学会講演会
 3. 20 ● 『龍谷法学』第18巻第4号発行 ・ 『宗教法研究』第7輯発行
 3. 25 ● 1985年度卒業証書授与式(卒業生486名)、大学院学位記授与式(法学修士1名) ・ 第15回同窓会総会、第15回同窓会新入会員歓迎祝賀会
 4. 1 ● 田北亮介法学部長に就任 ・ 繁田實造大学院法学研究科長に就任 ・ 永良系二教務部長に就任 ・ 西尾幸夫国外留学(西ドイツ)、安武敏夫国内留学
 4. 4 ● 1986年度入学式(513名) ・ 1986年度大学院入学式(修士課程9名、博士課程1名) ・ 寺本憲夫法学部事務長に就任
 5. 16 ● 第2回龍谷大学洋上セミナー(～23、中国上海市、蘇州市訪問)
 5. 26 ● 法学部講演会
 6. 10 ● 法学会研究懇談会、中国社会科学院科学者「日本の憲法および法制史に関する意見交流」 ・ 千葉乗隆学長、評議員に「理工系学部設置について」を提案
 6. 25 ● 法学会研究会、金東勲「イギリスで見たヨーロッパの人権状況—その現状と展望」
 6. 30 ● 『龍谷法学』第19巻第1号発行
 7. 17 ● 平秀道死去
 8. 2 ● 巡回無料法律相談(～3、徳島市)
 8. 26 ● 矯正課程、関東矯正施設視察(～27)
 9. 10 ● 『龍谷法学』第19巻第2号発行
 10. 1 ● 源重浩国外研究員(西ドイツ)
 10. 2 ● 1986年度9月卒業証書授与式(卒業生34名)
 10. 7 ● 評議会、「新学部設置の基本構想について」を承認
 10. 22 ● 法学会研究会、萬井隆令「国鉄労働者の人権侵害の実態と問題点」
 10. 25 ● 1987年度大学院法学研究科博士前期(修士)課程入学試験(合格者4名)
 11. 7 ● 法学会特別研究会、元検事総長安原美穂「矯正の課題」
 11. 15 ● 1987年度推薦入学試験(合格者79名)
 11. 26 ● 法学会研究会、繁田實造「警察学校における教育」
 11. 29 ● 巡回無料法律相談(宇治市)
 11. 30 ● 『龍谷法学』第19巻第3号発行
 12. 23 ● 法学部講演会「遺伝学からみた生物の進化」
1987. 1. 14 ● 谷口知平退職記念特別講義「私の80年」
 2. 1 ● 1987年度論文入学試験(志願者781名)
 2. 2 ● 法学会研究会、溜池良夫「国際婚姻・親子法の改正問題—『法令改正についての中間報告』をめぐる—」
 2. 13 ● 1987年度法学部一般入学試験(志願者5,524名)
 2. 24 ● 学長選挙会、千葉乗隆再選
 3. 2 ● 1987年度大学院法学研究科博士前期(修士)課程、博士後期課程入学試験(修士課程4名、博士後期課程なし)
 3. 20 ● 『龍谷法学』第19巻第4号発行
 3. 24 ● 1986年度卒業証書授与式(卒業生444名)、大学院学位記授与式(法学修士2名) ・ 第16回同窓会総会、第16回同窓会新入会員歓迎祝賀会
 3. 26 ● 全学カリキュラム改革委員会「カリキュラム改革実施素案」を発表
 3. 31 ● 谷口知平・杉村敏正退職
 4. 1 ● 千葉乗隆龍谷大学学長兼龍谷大学短期大学部学長に就任 ・ 熊谷開作龍谷大学法学会会長に就任 ・ 杉村敏正・手嶋豊・近藤久雄着任
 ・ 中川法城文学部へ移籍 ・ 大崎徹特別研究員
 4. 3 ● 1987年度入学式(647名)
 4. 4 ● 1987年度大学院入学式(修士課程7名)

-
1987. 5. 6 ● 教授会、1988年度推薦入学試験改革を決定
6. 30 ● 『龍谷法学』第20巻第1号発行
7. 1 ● 教授会、『『大学審議会』設置法案についての反対声明』を公表
8. 1 ● 松岡久和国外研究員(西ドイツ)
9. 1 ● 辻田丞治国外研究員(フランス)
9. 5 ● 巡回無料法律相談(～6、高知市)
9. 19 ● 巡回無料法律相談(樺原市)
10. 1 ● 中川祐夫特別研究員(西ドイツ)
10. 21 ● 法学部長選挙規程改正(第9条第3項、第12条第1項)
10. 22 ● 法学部講演会「北欧及びドイツにおける日本研究」
10. 24 ● 龍谷大学法学部創設20周年記念式典・パーティー(深草学舎 16新館地下1階)
11. 15 ● 1988年度公募推薦入学試験
11. 25 ● 法学部講演会「中国現代文学における老舎」
● 法学会秋期講演会「日本の国際化と在日外国人」
11. 30 ● 『龍谷法学』第20巻第3号発行
-
1988. 1. 31 ● 1988年度法学部論文入学試験
2. 11 ● 1988年度法学部一般入学試験
3. 1 ● 1988年度法学研究科入学試験
3. 20 ● 『龍谷法学』第20巻第4号発行
● 『法学論集—学生論集—』第17巻発行
3. 23 ● 1987年度卒業証書授与式(424名)、大学院学位記授与式(法学修士3名)
3. 31 ● 柴垣芳太郎退職
4. 1 ● 上田勝美法学部長に就任 ・ 森孝三法学研究科長に就任 ・ 武久征治入試センター長に就任
● 見上崇洋・白石克孝・藤原良一・金子眞也着任
● 中村宏理工学研究所へ移籍 ・ 平野武社会科学研究所へ異動
● 田北亮介法学部長解任 ・ 繁田實造法学研究科長解任
● 石井幸三・西尾幸夫・脇田滋・松原廣志教授昇任
● 手嶋豊・櫻井龍彦助教昇任
● 脇田滋国外留学(イタリア) ・ 田北亮介特別研究員
4. 5 ● 1988年度入学式(561名)
4. 6 ● 1988年度大学院入学式(修士課程11名)
4. 28 ● 櫻井昇法学部事務長に就任
6. 1 ● 法学会研究会「フライブルグ学派について」
6. 29 ● 法学会研究会「宗本一体系について」
6. 30 ● 『龍谷法学』第21巻第1号発行
7. 18 ● 小畑雄治郎学長補佐に就任
9. 10 ● 『龍谷法学』第21巻第2号発行
● 巡回無料法律相談(～11、大分市)
9. 28 ● 法学部講演会「現代イギリスにおける福祉国家と憲法」
● 法学会研究会「イギリス憲法と司法権の独立」
9. 30 ● 1988年度9月卒業証書授与式(卒業生27名)
10. 17 ● 法学会秋期講演会「リーガルマインドを身につける—法律学と法律家の責任—」
11. 8 ● 法学部講演会「日本文化に欠けているもの」
11. 20 ● 法学部公募推薦入学試験
11. 26 ● 巡回無料法律相談(茨城市)
11. 30 ● 法学会研究会「国際的人権保護の今日的課題」
● 『龍谷法学』第21巻第3号発行
-
1989. 2. 5 ● 地方入学試験
2. 12 ● 法学部一般入学試験
3. 15 ● 1988年度卒業証書授与式(卒業生403名)、大学院学位記授与式(法学修士6名)
● 『龍谷法学』第21巻第4号発行
● 『法学論集—学生論集—』第18巻
3. 31 ● 武久征治入試センター長解任 ・ 熊谷開作・手嶋豊退職
4. 1 ● 信楽峻鷹龍谷大学学長(第13代)兼龍谷大学短期大学部学長に就任
● 甲斐道太郎・片岡昇・西川靖二・林宅男着任
● 森孝三法学研究科長に再任
● 平野武社会科学研究所から法学部へ異動 ・ 永良系二、山内貞男特別研究員
● 平野武・亘甫・藤原良一理工学部へ移籍
-

1989. 4. 5 ● 1989年度入学式(570名)
4. 6 ● 1989年度大学院入学式(修士課程4名、博士課程1名)
5. 2 ● 法学会研究会「最近の土地関連行政と土地基本法案について」
5. 31 ● 法学会研究会「70～80年代における蓄積戦略の変化と政治・行政」
6. 5 ● 法学部講演会「国際私法に関する連邦法にもとづくスイス新国際仲裁法について」
6. 23 ● 法学部講演会「国際化とアジア・日本」、法学会講演会「日本の国際化とアジア」
6. 28 ● 法学会研究会「情報と法」
6. 30 ● 『龍谷法学』第22巻第1号発行
8. 1 ● 桂文子国外研究員(英国)
9. 2 ● 巡回無料法律相談(～3、松江市)
9. 10 ● 『龍谷法学』第22巻第2号発行
9. 30 ● 1989年度9月卒業証書授与式(卒業生28名)
● 1989年度第2学期入学式(1名)
11. 8 ● 法学会特別研究会「裁判と法」
11. 19 ● 公募推薦入学試験
11. 22 ● 法学会研究会「現代人権論の一断面」
● 池田栄死去
11. 24 ● 法学会講演会「フランス革命と人権」
11. 30 ● 『龍谷法学』第22巻第3号発行
12. 9 ● 巡回無料法律相談(宇治市)
-
1990. 1. 8 ● 法学部講演会「中国・タイにおける民族接触と言語文化の変容」
1. 31 ● 法学会研究会「『せつないまでの憧憬』について」
2. 11 ● 地方入学試験
2. 16 ● 法学部一般入学試験
3. 15 ● 『龍谷法学』第22巻第4号発行
● 『法学論集—学生論集—』第19巻
3. 23 ● 1989年度卒業証書授与式(卒業生419名)、大学院学位記授与式(法学修士8名)
3. 31 ● 上田勝美法学部長解任 ・ 森孝三法学研究科長解任 ・ 田北亮介教務部長解任
4. 1 ● 金東勲法学部長に就任 ・ 安武敏夫法学研究科長に就任 ・ 平野武教務部長に就任 ・ 上田勝美社会科学研究所長に就任 ・ 西川芳樹法学部事務長に就任
● 中田邦博・萩屋昌志着任
● 石田徹・田中則夫・本間靖規教授昇任
● 林智康法学部へ移籍 ・ 田中則夫法学部へ異動 ・ 石田徹特別研究員
4. 4 ● 1990年度入学式(602名)
4. 6 ● 1990年度大学院入学式(修士課程2名)
5. 18 ● 法学部講演会「製造物責任法の今日的展開」
● 法学会特別研究懇談会「製造物責任—世界的法統一へむけての前提と課題—」
5. 23 ● 法学会研究会「満足的仮処分とその処理」
6. 22 ● 法学会夏季講演会「東欧市民社会から何を学ぶか」
6. 27 ● 法学会研究会「労働法の転換」
6. 30 ● 『龍谷法学』第23巻第1号発行
7. 25 ● 法学会研究会「西ドイツのテレビ放送広告と民事的責任—西ドイツ不正競争防止法におけるテレビ局の責任を中心に—」
9. 1 ● 萬井隆令国外研究員(アメリカ)
9. 8 ● 巡回無料法律相談(～9、長崎市)
9. 25 ● 1990年度9月卒業証書授与式(卒業生27名)
9. 29 ● 1990年度9月入学式(4名)
9. 30 ● 『龍谷法学』第23巻第2号発行
10. 20 ● 巡回無料法律相談(守山市)
10. 31 ● 法学会研究会「行政の公共分析」
11. 18 ● 公募推薦入学試験
11. 28 ● 法学会研究会「子供の権利条約について」
12. 5 ● 法学会秋季講演会「国連と日本の安全保障—中東情勢と日本の安全保障」
12. 30 ● 『龍谷法学』第23巻第3号発行
-
1991. 2. 5 ● 法学部講演会「新民事保全法について」
2. 11 ● 地方入学試験
2. 17 ● 法学部一般入学試験
3. 15 ● 『龍谷法学』第23巻第4号発行
● 『法学論集—学生論集—』第20巻

1991. 3. 23 ● 1990年度卒業証書授与式（卒業生537名）、大学院学位記授与式（法学修士5名）
3. 31 ● 森孝三退職 ・ 小畑雄治郎学長補佐解任
4. 1 ● 上田勝美学長補佐に就任 ・ 田北亮介図書館長に就任
● 安武敏夫大学院法学研究科長に再任
● 岩田憲幸・稲垣宏明着任
● 西尾幸夫法学部へ異動 ・ 石井幸三社会科学研究所へ異動
● 桂文子教授昇任 ・ 松原廣志特別研究員
4. 5 ● 1991年度入学式（677名）
4. 8 ● 1991年度大学院入学式（修士課程2名、博士課程1名）
5. 8 ● 法学会研究会「単身赴任についてーその法的問題点を考えるー」
5. 14 ● 法学会・法学部講演会「国家統一売買法」
5. 29 ● 法学会研究会「光華寮事件について」
6. 6 ● 法学会研究会「弁護士と人権擁護活動」
6. 27 ● 法学会夏季講演会「現代警察の公共性」
6. 30 ● 『龍谷法学』第24巻第1号発行
7. 3 ● 法学会研究会「国家論＝制度論の復活ー欧米と日本の政治学の新動向の意義ー」
8. 1 ● 白石克孝国外研究員（アメリカ）
9. 11 ● 法学会研究会「ドイツ民法法典における意思表示法の形成過程ー第1草案への批判を中心にー」
9. 21 ● 巡回無料法律相談（～22、徳島市）
9. 30 ● 1991年度9月卒業証書授与式（卒業生40名）
● 1991年度第2学期入学式（1名）
● 『龍谷法学』第24巻第2号発行
11. 2 ● 巡回無料法律相談（彦根市）
11. 6 ● 法学会研究会「差別・平等・人権ーアメリカでの体験をまじえてー」
11. 8 ● 法学部講演会「人権問題の国際的展開」
● 法学会秋季講演会「人権問題の国際的展開」
● 法学会特別研究懇談会「人権問題の国際的展開をめぐって」
11. 14 ● 法学部講演会「公務員を目指す人へー現場からのメッセージー」
11. 17 ● 1992年度公募推薦入学試験
1992. 2. 9 ● 1992年度地方入学試験
2. 12 ● 1992年度法学部一般入学試験
3. 7 ● 1992年度法学部政治学科一般入学試験
3. 10 ● 法学会特別研究会「法と医学」
3. 11 ● 法学会特別研究会「フランスにおける合憲性の統制」
3. 15 ● 『龍谷法学』第24巻第3・4号発行
● 『法学論集ー学生論集ー』第21巻
3. 23 ● 1991年度卒業証書授与式（卒業生461名）、大学院学位記授与式（法学修士6名）
3. 28 ● 法学会特別研究会「裁判と法」
3. 31 ● 安武敏夫大学院法学研究科長解任 ・ 片岡昇退職 ・ 安武敏夫退職
4. 1 ● 法学部に政治学科を増設 ・ 永良系二法学部長に就任 ・ 高島學司法学研究科長に就任
● 武久征治特別研究員・本間靖規社会科学研究所専任研究員・坂本勝・高橋進・平野孝・水口憲人・牛尾洋也・三阪佳弘着任
● 成山雅康法学部事務長に就任
● 1992年度入学式（法律学科471名、政治学科191名、合計662名）
4. 6 ● 1992年度大学院入学式（修士課程5名）
5. 20 ● 法学会研究会「中国はどこへいくー拉OKから核電話までー」
● 法学会・法学部講演会「国際人権保障の理論と実際ー日本の若者に期待してー」
5. 26 ● 法学会・法学部講演会「ギリシア民事訴訟法における既判力の諸問題」
6. 17 ● 法学部講演会「弁護士の道を選んで」
6. 23 ● 法学部講演会「京都府第4次総合開発計画（京都府議会傍聴において）」
6. 24 ● 法学会研究会「『保障契約と錯誤』に関する覚書」
● 法学部講演会「マスコミ業界の現状と問題点」
6. 30 ● 『龍谷法学』第25巻第1号発行
7. 1 ● 法学会特別研究会「ドイツにおける企業制度」
7. 16 ● 法学会研究会「自由民主主義体制分析ー『石田政治学』の成熟度チェッカーー」
8. 6 ● 法学会特別研究会「中国における行政処罰法の制定について」
9. 1 ● 法学会特別研究会「民事訴訟法のヨーロッパ化」
● 見上崇洋国外研究員（フランス）
9. 21 ● 巡回無料法律相談（～22 高知市）

1992. 9. 30 ● 1992年度9月卒業証書授与式(卒業生35名)
 ● 『龍谷法学』第25巻第2号発行
 ● 1992年度第2学期入学式(入学者5名法律学科3名、政治学科2名)
10. 17 ● 巡回無料法律相談(草津市)
11. 15 ● 1993年度法学部公募推薦入学試験
12. 9 ● 法学会特別研究会「今後の法学教育のあり方をめぐって—立命館方式による民法カリキュラムの実践から—」
 ● 法学部講演会「労働基準監督官はどういう仕事をするのか」
12. 11 ● 法学部講演会「1990年代の刑事政策」
12. 16 ● 法学部講演会「無題」
12. 30 ● 『龍谷法学』第25巻第3号発行
1993. 1. 8 ● 法学部講演会「国際司法裁判所の現状と課題」
1. 16 ● 1993年度大学入試センター試験(～17)
1. 31 ● 1993年度法学部一般入学試験(地方試験)
2. 12 ● 1993年度法学部一般入学試験(同日試験)
3. 15 ● 『法学論集—学生論集—』第22巻発行
3. 19 ● 1992年度卒業証書授与式(卒業生501名)、大学院学位記授与式(修了者0名)
3. 20 ● 『龍谷法学』第25巻第4号発行
4. 1 ● 萬井隆令教務部長に就任・高島學司大学院法学研究科長に再任
 ● 平野武理工学部から法学部へ移籍
 ● 坂井定雄、乾昭三着任 窪田通雄特別研究員、平野武社会科学研究所専任研究員
 ● 1993年度入学式(法律学科481名、政治学科157名、合計638名)
4. 5 ● 1993年度大学院入学式(修士課程7名)
4. 28 ● 法学会研究会「国家・階級・公共性—石田政治学・水口行政学を批判する—」
5. 24 ● 法学部講演会「司法書士を目指すみなさんへ」
6. 7 ● 法学部講演会「無題」
6. 15 ● 法学部講演会「マスコミを目指すみなさんへ」
6. 20 ● 『龍谷法学』第26巻第1号発行
6. 23 ● 法学会研究会「拡大する中東」
6. 29 ● 法学部講演会「無題」
7. 2 ● 法学部講演会「陪審制について」
7. 8 ● 法学部講演会「アフリカと日本」
9. 1 ● 本間靖規特別研究員(ドイツ)
9. 11 ● 巡回無料法律相談(～12、岐阜市)
9. 27 ● 1993年度9月卒業証書授与式(64名)
 ● 1993年度第2学期入学式(入学者4名法律学科のみ)
9. 30 ● 『龍谷法学』第26巻第2号発行
10. 1 ● Paul D. Jaffe着任
 ● 田中則夫特別研究員
10. 15 ● 法学部講演会「地方公務員の仕事：公務員を目指す人のために」
11. 5 ● 法学会秋季講演会「国連における犯罪防止世界会議の企画と運営」
11. 15 ● 法学部講演会「Uターン地方公務員：その仕事とやりがい」
11. 16 ● 法学部講演会「中国における経済発展と行政法則」
11. 28 ● 1994年度法学部公募推薦入学試験
11. 29 ● 法学部講演会「柳園訴訟(生活保護と国家賠償責任)について」
12. 11 ● 巡回無料法律相談(長浜市)
1994. 1. 14 ● 法学部講演会「私はこうして採用試験に備えた」
1. 15 ● 1994年度大学入試センター試験(～16)
1. 30 ● 1994年度法学部一般入学試験(地方日程)
2. 1 ● 1994年度法学部一般入学試験(本学・同日日程)
2. 9 ● 1994年度法学部一般入学試験(本学日程)
2. 15 ● 法学会研究会「『国際私法講義』によせて」
3. 4 ● 法学会研究会「甲斐道太郎先生を囲んで」
3. 15 ● 『龍谷法学』第26巻第3・4号発行
3. 19 ● 1993年度卒業証書授与式(卒業生525名)、大学院学位記授与式(法学修士3名)
3. 31 ● 溜池良夫、甲斐道太郎退職
4. 1 ● 1994年度龍谷大学入学式(692名)
 ● 福島至・等々力賢治着任
 ● 辻本勲男、富野暉一郎、中坊公平、土井多賀子、山田洋次 法学部客員教授採用

-
1994. 4. 1. ● 萬井隆令法学部長・法学研究科長に就任
 ● 脇田滋社会科学研究所専任研究員
 ● 金子真也国外研究員(中国)
 ● 機構改革により法学部事務室を法学部教務課と改称 ・丸谷優子法学部教務課長に就任
4. 2 ● 1994年度大学院入学式(修士課程12名)
 ● 社会人大学院生の受け入れ開始
4. 15 ● 法学部講演会「手形・小切手の実務」
5. 11 ● 法学部講演会「地方自治体における個人情報の保護について」
5. 25 ● 法学会研究会「イタリア戦後体制の終焉と『第二共和制』-94年3月総選挙の分析-」
6. 22 ● 法学会研究会「略式手続の将来像について」
6. 30 ● 『龍谷法学』第27巻第1号発行
7. 6 ● 法学部講演会「陪審制への展望と現状」
7. 27 ● 法学会研究会「民事不法論における財産的利益保護と人格的利益保護との相克-イエーリングの民事不法論を素材に-」
8. 1 ● 萩屋昌志国外研究員(ドイツ)
9. 10 ● 龍谷大学巡回無料法律相談(～11小郡町・山口市)
9. 24 ● 1994年度法学部9月卒業証書授与式(38名)
 ● 1994年度法学部第2学期入学式(法律学科3名)
9. 26 ● 法学部講演会「四日市公害反対運動の政治過程」
10. 3 ● 法学部講演会「四日市公害反対運動の政治過程」
10. 4 ● 法学部講演会「東京地検特捜部の活動について」
10. 17 ● 法学部講演会「四日市公害の歴史と現在」
10. 19 ● 法学会特別研究会「東京地検特捜部の活動について」
10. 24 ● 法学部講演会「四日市公害の歴史と現在」
10. 25 ● 法学部講演会「元死刑囚として誤った捜査・裁判の問題や死刑の問題について」
10. 31 ● 法学部講演会「四日市公害の歴史と現在」 ・法学会研究会「ドイツの中世史家がみるヨーロッパ統合」
11. 14 ● 法学部講演会「台湾の法史的アイデンティティ」
 法学部講演会「監督官を志して」
11. 17 ● 法学部講演会「非核都市宣言と自治体の平和政策」
11. 27 ● 1995年度龍谷大学法学部公募推薦入学試験
11. 30 ● 法学部講演会「マルチメディアとは」
12. 8 ● 法学部講演会「ベルリンの壁崩壊後のドイツの現状」
12. 30 ● 『龍谷法学』第27巻第3号
-
1995. 2. 9 ● 1995年度龍谷大学地方入学試験
2. 11 ● 1995年度龍谷大学法学部一般入学試験
3. 15 ● 『龍谷法学』第27巻第4号発行
 ● 『法学論集-学生論集-』第23巻発行
3. 17 ● 1994年度龍谷大学法学部卒業証書授与式(591名)、大学院学位記授与式(法学修士6名)
3. 31 ● 高島學司退職
4. 1 ● 1995年度龍谷大学入学式(法律学科483名、政治学科154名、計640名)
 ● 1995年度龍谷大学院入学式(修士課程23名、博士課程1名)
 ● 北畠典生龍谷大学学長(14代)兼龍谷大学短期大学部学長に就任
 ● 森山浩江・片岡昇・吉川元偉着任
 ● Paul D. Jaffe 社会科学研究所専任研究員
 ● 林宅男国外研究員(アメリカ)
4. 27 ● 法学部講演会「パレスチナの現状と独立への展望」
6. 6 ● 法学部講演会「改革解放政策と立法の現状」
6. 14 ● 法学部講演会「任官拒否と司法の現状」
6. 20 ● 『龍谷法学』第28巻第1号発行
6. 21 ● 法学部講演会「老人福祉について」
6. 28 ● 法学部講演会「陪審制の展望」
 ● 法学会研究会「労働法における規制緩和と公正雇用保障をよんで」
6. 30 ● 法学会特別研究会「連立政権下における外交政策決定過程」
8. 1 ● 石井幸三国外研究員(ベトナムプロジェクト)
8. 2 ● 法学部講演会「都市行政と都市の自治」
9. 1 ● 上田勝美・金東勲特別研究員
9. 9 ● 巡回無料法律相談(～10、大分市)
9. 25 ● 1995年度法学部9月卒業証書授与式(卒業生38名)
 ● 1995年度法学部第2学期入学式(法律学科2名、政治学科1名)
-

- 1995.10. 1 ● 中田邦博国外研究員(ドイツ)
10. 3 ● 法学部講演会「手形取引と銀行取引」
10. 18 ● 法学会研究会「フランス契約法におけるコース理論—コース理論研究の日本における最近の展開」
10. 20 ● 『龍谷法学』第28巻第2号発行
● 法学会特別研究会「強制執行の憲法的限界—ギリシャ法を中心に」
11. 6 ● 法学会秋期講演会「いま司法に問われること」
11. 8 ● 法学部講演会「いま、司法に問われること」
11. 15 ● 法学会戦後50年企画「戦後50年を考える」
11. 29 ● 法学会研究会「民事訴訟制度の比較法的研究序説」
12. 3 ● 1996年度龍谷大学公募推薦入学試験
12. 9 ● 戦後50年企画「戦後50年を考える」
12. 11 ● 法学会研究会「民法入門を考える」
12. 14 ● 法学部講演会「イスラエル問題について」
12. 20 ● 『龍谷法学』第28巻第3号発行
-
1996. 2. 4 ● 1996年度龍谷大学地方一般入学試験
2. 8 ● 1996年度龍谷大学法学部一般入学試験
2. 9 ● 1996年度龍谷大学法学部一般入学試験
2. 10 ● 1996年度龍谷大学法学部一般入学試験
● 『龍谷法学』第28巻第4号発行
2. 22 ● 法学会研究会「水口憲人著『「大きな政府」の時代と行政』を书评する」
3. 13 ● 法学会研究会「労働法の新しい流れにそくして」
3. 15 ● 1995年度法学部卒業証書授与式(法律学科449名、政治学科152名、計601名)、大学院学位記授与式(法学修士14名)
● 『法学論集—学生論集—』第24巻発行
3. 31 ● 片岡昇退職
4. 1 ● 川角由和・上垣豊・鈴木龍也着任
● 武久征治法学部長・法学研究科長に就任
● 高橋敏之法学部教務課長に就任
● 平野武社会科学研究所所長に就任
● 萬井隆令社会科学研究所専任研究員
● 1996年度龍谷大学入学式(法律学科492名、政治学科146名、計638名)
● 松原廣志国際文化学部へ移籍
4. 6 ● 1996年度大学院入学式(修士課程26名、博士課程1名)
5. 14 ● 法学部講演会「死刑とオウム事件」
6. 12 ● 法学会特別研究会「既判力の第三者効」
6. 20 ● 『龍谷法学』第29巻第1号発刊
6. 26 ● 法学部講演会「精神薄弱者の現状」
7. 3 ● 柴垣芳太郎氏死去
● 法学会研究会「金銭の不当利得をめぐって」
8. 1 ● 牛尾洋也国外研究員(ドイツ)
9. 1 ● 三阪佳弘国外研究員(フランス)
9. 7 ● 巡回無料法律相談(～8、鹿児島市)
9. 20 ● 『龍谷法学』第29巻第2号発刊
9. 24 ● 1996年度9月卒業証書授与式(法律学科36名、政治学科8名、計44名)
10. 1 ● 木坂順一郎・川端正久特別研究員
10. 16 ● 法学部講演会「沖縄の基地問題と代理署名訴訟」
● 法学会研究会「沖縄の職務執行命令訴訟」
10. 29 ● 法学部講演会『「人件派遣」の実状と問題点』
10. 30 ● 法学会研究会「アメリカにおける代理法理論の形成と意思理論」
11. 8 ● 法学会特別研究会「ヨーロッパにおける統一民事訴訟法の可能性」
11. 20 ● 法学会研究会「フランス民事訴訟法における判決効拡張と強制参加制度」
11. 28 ● 法学部講演会「朝鮮戦争について」
12. 1 ● 1997年度龍谷大学法学部公募推薦入学試験
12. 3 ● 法学部講演会「裁判を通して学ぶ人生観—弁護士の役割と喜び—」
12. 5 ● 法学部講演会「湾岸戦争について」
12. 7 ● 法学会秋季講演会『「サステナブル世界」を求めて』
12. 18 ● 法学会研究会「契約コントロール—ヨーロッパ比較契約法研究序説」
12. 20 ● 『龍谷法学』第29巻第3号発刊

-
1997. 1. 5 ● 桂文子短期国外研究員（イギリス、アメリカ）
1. 22 ● 法学会研究会「新民事訴訟法について」
● 法学会研究会「民法カリキュラムを考える」
2. 2 ● 1997年度龍谷大学地方入学試験
2. 9 ● 1997年度龍谷大学法学部一般入学試験
2. 10 ● 1997年度龍谷大学法学部一般入学試験
2. 11 ● 1997年度龍谷大学法学部一般入学試験
2. 27 ● 法学会研究会「電子商取引の現状とその法律問題－契約の成立と代金決済方法を中心に－」
3. 15 ● 1996年度法学部卒業証書授与式（法律学科444名、政治学科132名、計573名）、大学院学位記授与式（法学博士1名、法学修士19名）
● 『龍谷法学』第29巻第4号発刊
● 『法学論集－学生論集－』第26巻発刊
3. 31 ● 大崎徹退職
4. 1 ● 1997年度入学式（法律学科492名、政治学科167名、計659名）
● 萬井隆令副学長就任
● 岩田貢着任
● 藤原弘道着任
● 岩田憲幸国内研究員
4. 5 ● 1997年度大学院入学式（修士課程25名、博士課程2名）
4. 11 ● 高橋敏之法学部教務課長に就任
5. 2 ● 法学部講演会「刑事司法の実際（勾留）－逮捕・身体拘束の実体－」
5. 16 ● 法学部講演会「人・国境・私－難民として考える－」
5. 28 ● 法学部講演会「憲法施行50年－いま日本は、沖縄は－」
6. 6 ● 法学部講演会「食糧問題を通じて自治体行政を考える」
6. 10 ● 法学部講演会「自然の権利訴訟」
6. 12 ● 法学会特別研究会「既判力の第三者効」
6. 30 ● 法学部講演会「私の見た戦後政治と政界再編の行方」
7. 6 ● 坂井定雄短期国外研究員（マレーシア、フィリピン他）
7. 11 ● 法学部講演会「刑事司法の実際－刑事司法を語る－」
8. 1 ● 高橋進国外研究員（イタリア）
9. 1 ● 西尾幸夫特別研究員
9. 13 ● 巡回無料法律相談（～14、札幌市）
9. 24 ● 1997年度9月卒業証書授与式（法律学科25名、政治学科8名、計33名）
10. 1 ● 木坂順一郎図書館長に就任
10. 29 ● 法学部創設30周年記念共同研究シンポジウム「産業革命期の英国－社会と個人－」
11. 7 ● 法学部創設30周年記念共同研究シンポジウム「京都における企業法務を考える」
11. 12 ● 法学部創設30周年記念国際シンポジウム「21世紀に向かうアジアの人権と発展」講師：明石康国際連合事務次長
11. 22 ● 龍谷講座法学部創設30周年記念シリーズ「生活者と法」（3）「生活者と家族法」
11. 26 ● 法学部30周年記念共同研究シンポジウム「裁判公開の現代的課題」
11. 28 ● 矯正・保護課程 開設20周年記念講演会・研究会
11. 29 ● 龍谷講座法学部創設30周年記念シリーズ：「生活者と法」（4）「生活者と民事裁判」
12. 3 ● 法学部30周年記念共同研究シンポジウム「ガバナメントシステムの転換」－NPO法時代の地域開発と市民参加－
-
1998. 1. 12 ● 乾昭三教授退職記念講演会「法解釈学と法社会学の間」
1. 13 ● 中川祐夫教授退職記念講演会「私と刑事法学」
3. 14 ● 1997年度大学院学位記授与式（法学修士21名）
3. 18 ● 1997年度法学部卒業証書授与式（法律学科478名、政治学科146名、計624名）
3. 31 ● 中川祐夫・水口憲人・乾昭三退職
4. 1 ● 石塚伸一着任
富野暉一郎・林茂夫・長谷川永法学部客員教授採用
● 永良系二法学部長に就任
川端正久法学研究科長に就任
● 平野孝国内研究員（国立教育研究所）
● 1998年度入学式（法律学科476名、政治学科147名、編転入17名、計640名）
● 室住賢一法学部教務課長に就任
4. 4 ● 1998年度大学院入学式（修士課程24名、博士課程2名、計26名）
9. 1 ● Paul Jaffe国外研究員（アメリカ）
9. 12 ● 無料法律相談 in 徳島（～13）
9. 22 ● 1998年度9月法学部卒業証書授与式（法律学科34名、政治学科12名、計46名）
-
10. 1 ● 川角由和学外資金等による在学研究（ドイツ）
-

1998. 10. 1 ● 見上崇洋特別研究員
 12. 29 ● 田中則夫短期国外研究員(イギリス)
1999. 1. 12 ● 繁田實造法学部教授定年退職記念最終講義「刑事司法と民意の反映」
 3. 13 ● 1998年度大学院学位記授与式(法学修士29名)
 3. 18 ● 1998年度法学部卒業証書授与式(法律学科433名、政治学科131名、計564名)
 3. 31 ● 小畑雄治郎・繁田實造・山内貞男・林宅男退職
 4. 1 ● 西川靖二国外研究員(中国)
 ● 富野暉一郎・小柿徳武・水野武夫着任
 中村順一法学部客員教授採用
 ● 1999年度入学式(法律学科515名、政治学科139名、編転入16名、計670名)
 4. 3 ● 1999年度大学院入学式(修士課程28名、博士課程3名、計31名)
 7. 1 ● 石田徹短期国外研究員(スウェーデン)
 7. 3 ● 萬井隆令短期国外研究員(アメリカ)
 7. 11 ● 白石克孝特別研究員(イングランド)
 ● 脇田滋特別研究員
 8. 1 ● 福島至国外研究員(イングランド)
 9. 22 ● 1999年度9月法学部卒業証書授与式(法律学科26名、政治学科11名、計37名)
 11. 2 ● 無料法律相談 in 高知(～21)
2000. 1. 18 ● 木坂順一郎法学部教授定年退職記念最終講義「私とアジア・太平洋戦争研究」
 3. 11 ● 1999年学位記授与式(法学修士17名)
 3. 16 ● 1999年度法学部卒業証書授与式(法律学科435名、政治学科125名、計560名)
 3. 31 ● 木坂順一郎・本間靖規・見上崇洋退職
 4. 1 ● 2000年度入学式(法律学科406名、政治学科132名、編転入15名、再入学1名、計554名)
 2000年度大学院入学式(修士課程44名、博士課程1名、計45名)
 ● 川端正久法学部長に就任
 平野武法学研究科長に就任
 ● 鍋島直樹文学部より法学部へ移籍
 ● 村井敏邦・佐藤和弘・中山薫二・廣原盛明着任
 越賀英次・玉木正之法学部客員教授採用
 8. 1 ● 坂本勝国外研究員(イングランド)
 ● 森山浩江国外研究員(フランス)
 ● 平野武短期国外研究員(中国)
 ● 金子真也短期国外研究員(中国)
 ● 田中則夫短期国外研究員(ドイツ)
 ● 辻田丞治特別研究員
 9. 9 ● 無料法律相談 in 大分(～10)
 9. 22 ● 2000年度9月法学部卒業証書授与式(法律学科24名、政治学科5名、計29名)
2001. 3. 10 ● 2000年学位記授与式(法学修士22名、法学博士1名、計23名)
 3. 15 ● 2000年度法学部卒業証書授与式(法律学科441名、政治学科135名、計576名)
 3. 31 ● 西尾幸夫退職
 4. 1 ● 桂文子特別研究員
 ● 2001年度入学式(法律学科390名、政治学科135名、編転入16名、計541名)
 ● 2001年度大学院入学式(修士課程43名)
 ● 本多滝夫・土山希美枝・名津井吉裕・村田和代・辻本勲男着任
 4. 13 ● 太田功法学部教務課長に就任
 7. 1 ● 石田徹短期国外研究員(スウェーデン)
 7. 10 ● 高橋進短期国外研究員(イタリア)
 8. 1 ● 鈴木龍也国外研究員(アメリカ)
 9. 1 ● 近藤久雄国外研究員(アメリカ)
 9. 8 ● 無料法律相談 in 広島(～9)
 9. 21 ● 2001年度9月法学部卒業証書授与式(法律学科26名、政治学科14名、計40名)
 ● 2001年度9月入学式(法律学科1名)
2002. 3. 1 ● 萩屋昌志特別研究員
 3. 16 ● 2001年学位記授与式(法学修士43名)
 3. 18 ● 2001年度法学部卒業証書授与式(法律学科394名、政治学科121名、計515名)
 3. 31 ● 田北亮介退職
 4. 1 ● 金尚均学外資金等による在学研究(ドイツ)
 ● 2002年度入学式(法律学科440名、政治学科142名、編転入19名、計601名)

2002. 4. 1 ● 2002年度大学院入学式（修士課程31名、博士課程4名、計35名）
- 脇田滋法学部長に就任
 - 田村詩子・橋口豊・平野哲郎・寺田武彦着任
伊藤真・土屋隆生・畠山晃朗・徳岡宏一郎・弘中淳一郎・Mark M.Stavsky法学部客員教授採用
 - 牛尾洋也社会科学研究所より法学部へ移籍
 - 村井敏邦矯正・保護研究センター長に就任
7. 10 ● 東文慶短期国外研究員（イギリス）
9. 1 ● 上垣豊国外研究員（フランス）
- 豊崎七絵着任
 - 高松得英法学部教務課長に就任
9. 7 ● 無料法律相談 in 富山（～8）
9. 17 ● 脇田滋法科大学院設置事務室長に就任
9. 20 ● 2002年度9月法学部卒業証書授与式（法律学科35名、政治学科8名、計43名）
- 2002年度9月入学式（法律学科1名）
9. 25 ● 落合雄彦・北川秀樹着任
10. 1 ● 中田邦博特別研究員
11. 19 ● 法学部政治学科開設10周年記念シンポジウム「変わる世界の中の日本像 —市民・地域・国家の視点から—」
2003. 1. 16 ● 上田勝美法学部教授定年退職記念最終講義「平和憲法と21世紀の国家像」
1. 17 ● 金東勲法学部教授定年退職記念最終講義「国権の国際法から人権の国際法への再構築を！—21世紀の国際法を展望する—」
3. 15 ● 2002年度学位記授与式（法学修士28名、法学博士1名、計29名）
3. 18 ● 2002年度法学部卒業証書授与式（法律学科421名、政治学科118名、計539名）
4. 1 ● 2003年度入学式（法律学科409名、政治学科142名、編転入12名、計563名）
- 2003年度大学院入学式（修士課程38名、博士課程4名、計42名）
 - 岡本詔治・兒玉寛・浜井浩一・元山健・山内敏弘・若林三奈・戸塚悦朗着任
伊原友己・大川一夫・加島宏・鴨下守孝・神山啓史・酒井享平・後藤貞人・竹下義樹・中村和雄・山田充忠法学部客員教授採用
 - 金東勲・上田勝美・小柿徳武退職
 - 三阪佳弘社会科学研究所より法学部へ移籍
 - 平野孝法学部より社会科学研究所へ移籍
9. 1 ● 村井敏邦 短期国外研究員（オーストラリア）
9. 6 ● 無料法律相談 in 鹿児島（～7）
9. 19 ● 2003年度9月法学部卒業証書授与式（法律学科44名、政治学科7名、計51名）
- 2003年度9月入学式（法律学科3名）
 - 2003年度9月大学院入学式（修士課程1名）
11. 27 ● 法科大学院設置不認可
12. 18 ● 川端正久法学部長に就任
2004. 2. 1 ● 高橋進 特別研究員
3. 8 ● 大石洋史法学部教務課長に就任
3. 13 ● 2003年度学位記授与式（法学修士27名）
3. 18 ● 2003年度法学部卒業証書授与式（法律学科357名、政治学科123名、計480名）
3. 31 ● 三阪佳弘退職
- 石塚伸一国外研究員（ドイツ）
4. 1 ● 高村ゆかり・池田恒男・赤池一将・鈴木眞澄・諸根貞夫・中川孝博・田村和之・西脇敏男・孕石孟則・Paul Hackshaw着任
団藤重光・松井忠義・斎藤浩・岡伸浩・斎藤武・牧野二郎・道あゆみ法学部客員教授採用
- 石田徹 法学部長・法科大学院設置事務室長に就任
 - 平野武 法学研究科長に就任
 - 村井敏邦 矯正・保護研究センター長
 - 平野孝社会科学研究所より法学部へ移籍
 - 2004年度入学式（法律学科503名、政治学科115名、編転入11名、再入学1名 計630名）
4. 3 ● 2004年度大学院入学式（修士課程31名、博士課程3名、計34名）
9. 4 ● 無料法律相談 in 広島（～5）
9. 17 ● 2004年度9月入学式（法律学科1名）
- 2004年度9月法学部卒業証書授与式（法律学科24名、政治学科4名、計28名）
10. 1 ● Johannes Preisinger法学部客員教授採用
2005. 1. 13 ● 坂井定雄法学部教授定年退職記念最終講義「わたしと「帝国」の戦争—ベトナム、パレスチナ、そしてイラク」
3. 17 ● 2004年度法学部卒業証書授与式（法律学科344名、政治学科114名、計458名）
3. 19 ● 2004年度学位記授与式（法学修士32名）
3. 25 ● 川角由和 北海道大学博士（法学）学位取得
3. 31 ● 坂井定雄・辻田蒸治退職

2005. 4. 1 ● 坂本勝特別研究員
- 西倉一喜・畠山亮・大矢野修着任
高橋和夫法学部客員教授採用
 - 法科大学院開設
 - 萬井隆令法務研究科長就任
 - 川角由和社会科学研究所より法学部へ移籍
 - 石塚伸一・岡本詔治・川角由和・金尚均・兒玉寛・田中則夫・戸塚悦朗・中田邦博・萩屋昌志・浜井浩一・平野哲郎・福島至・本多滝夫・村井敏邦・諸根貞夫・山内敏弘・萬井隆令法学部より法務研究科へ移籍
4. 2 ● 2005年度入学式（法律学科400名、政治学科129名、編転入14名、計543名）
- 2005年度大学院入学式（修士課程24名、博士課程4名、計28名）
 - 2005年度法科大学院入学式（法務研究科生58名）
6. 23 ● 福島至短期国外研究員（オーストラリア、英国）
9. 3 ● 無料法律相談 in 熊本（～4）
9. 17 ● 2005年度9月法学部卒業証書授与式（法律学科21名、政治学科6名、計27名）
- 2005年度学位記授与式（法学修士2名）
 - 2005年度9月入学式（法律学科1名）
10. 1 ● 窪田通雄学長補佐・高大連携推進室長に就任
12. 4 ● 武久征治副学長・総合情報化機構長に就任
-
2006. 3. 16 ● 2005年度法学部卒業証書授与式（法律学科375名、政治学科124名、計499名）
3. 17 ● 佐藤和弘国外研究員（ドイツ）
3. 18 ● 2005年度学位記授与式（法学修士25名）
3. 31 ● 東文麿・田村詩子・水野武夫退職
- 牛尾洋也特別研究員（ドイツ）
4. 1 ● 2006年度入学式（法律学科414名、政治学科161名、編転入7名、再入学1名、計583名）
- 2006年度法科大学院入学式（60名）
 - 2006年度大学院入学式（修士課程29名、博士課程6名、計35名）
 - 河村尚志・谷垣岳人・森勝治着任
太田眞一法学部客員教授採用
 - 森山浩江社会科学研究所より法学部へ移籍
橋口豊法学部より社会科学研究所へ移籍
 - 高橋進法学部長就任
 - 鍋島直樹ボランティア・NPO活動センター長就任
 - 脇田滋法学研究科長就任
 - 東文麿名誉教授称号授与
9. 2 ● 無料法律相談 in 姫路（～3）
9. 19 ● 2006年度9月法学部卒業証書授与式（法律学科18名、政治学科5名、計23名）
- 2006年度学位記授与式（法学修士2名、法学博士1名、計3名）
 - 2006年度9月入学式（法律学科2名、政治学科1名、計3名）
 - 2006年度9月大学院入学式（修士課程2名）
9. 30 ● 豊崎七絵退職
-
2007. 3. 9 ● 西村豊法学部教務課長に就任
3. 15 ● 2006年度法学部卒業証書授与式（法律学科383名、政治学科145名、計528名）
3. 17 ● 2006年度学位記授与式（法学修士20名）
3. 31 ● 等々力賢治・永良系二・Paul Hackshaw退職
4. 1 ● 2007年度入学式（法律学科380名、政治学科140名、編転入9名、再入学1名、計530名）
- 2007年度大学院入学式（修士課程21名、博士課程2名、計23名）
 - 2007年度法科大学院入学式（58名）
 - 神吉正三・西田幸介・玄守道・河合美香着任
 - 橋口豊 社会科学研究所より法学部へ移籍
 - 池田恒男 法学部より社会科学研究所へ移籍
 - 鍋島直樹人間・科学・宗教オープン・リサーチ・センター長に就任
 - 永良系二名誉教授称号授与
4. 28 ● 龍谷講座シリーズ：法学部創設40周年記念公開講座 現代中国を学ぶ(1)「中国はスーパードラゴン(超大国)になれるか」
5. 19 ● 龍谷講座シリーズ：法学部創設40周年記念公開講座 現代中国を学ぶ(2)「中国の持続可能な発展と環境問題への取組」
6. 2 ● 法学部創設40周年記念講演会「私たちは いまにとけ込んでいる未来を生きている」大江健三郎氏
6. 9 ● 龍谷講座シリーズ：法学部創設40周年記念公開講座 現代中国を学ぶ(3)「日中間『海洋・領土紛争』解決の問題」
6. 30 ● 龍谷講座シリーズ：法学部創設40周年記念公開講座 今、日本国憲法を考える(1)「日本国憲法の意義と改憲をめぐる動向」
7. 6 ● 法学部創設40周年学生シンポジウム「東アジアと日本—信頼と共生の時代に向けて—」

2007. 7. 7 ● 龍谷講座シリーズ：法学部創設40周年記念公開講座 今、日本国憲法を考える(2)「雇用・福祉の現実と日本国憲法」
7. 14 ● 法学部創設40周年法科大学院法務研修シンポジウム「司法アクセスの現状と課題 弁護士過疎は克服できるか」
7. 21 ● 龍谷講座シリーズ：法学部創設40周年記念公開講座 今、日本国憲法を考える(3)「ヨーロッパで語る日本国憲法」
9. 8 ● 無料法律相談 in 徳島(～9)
9. 18 ● 2007年度9月法学部卒業証書授与式(法律学科27名、政治学科12名、計39名)
- 2007年度9月学位記授与式(法学修士1名)
 - 2007年度9月入学式(法律学科1名)
 - 2007年度9月大学院入学式(修士課程2名)
11. 17 ● 法学部創設40周年記念シンポジウム・記念式典「21世紀のアジアと日本—外交と憲法をめぐって—」
11. 19 ● 法学部創設40周年キャリア啓発事業「ベアテの贈りもの～OGの活躍と龍大生の将来像」
11. 21 ● 法学会研究会「刑法における未必の故意について」
12. 17 ● 法学会研究会「ねじれ国会のゆくえと2大政党制」
-
2008. 1. 9 ● 法学会研究会「中国・アメリカ・日本法における株主代表訴訟の比較的研究—中国・(新設)株主代表訴訟制度(2006年)の検討」
2. 13 ● 法学会研究会「エルンスト・ラーベルとウィーン売買条約(CISG)」
3. 13 ● 2007年度卒業証書授与式(法律学科429名、政治学科92名、計521名)
3. 15 ● 2007年度学位記授与式(法学修士26名、法学博士1名、計27名)
3. 31 ● 中川孝博・名津井吉裕退職
4. 1 ● 2008年度入学式(法律学科372、政治学科132、編転入9名、計513名)
- 2008年度大学院入学式(修士課程17名、博士課程3名、計20名)
 - 大矢野修・廣原盛明着任
太田眞一・中村順一・長谷川永・板東正男・松井忠義・山田充忠客員教授採用
 - 池田恒男社会科学研究所より法学部へ移籍、石田徹法学部より社会科学研究所へ移籍
 - 鍋島直樹特別研究員(龍谷大学)
 - 元山健法学部長就任
 - 武久征治法学研究科長就任
5. 29 ● 法学会特別研究会「取引関係における贈収賄とその性質」
7. 1 ● 若林三奈国外研究員(ドイツ)
7. 20 ● 富野暉一郎短期国外研究員(中国)
7. 23 ● 法学会特別研究会「グルジアにおける法改革とEU加盟」
8. 25 ● 畠山亮国外研究員(ドイツ)
8. 27 ● 落合雄彦短期国外研究員(シエラレオネ)
9. 6 ● 無料法律相談 in 松山(～7)
9. 17 ● 2008年度9月卒業証書授与式(法律学科30名、政治学科4名、計34名)
- 2008年度学位記授与式(法学修士2名)
 - 2008年度第2学期大学院入学式(博士後期課程1名)
10. 16 ● 法学会特別研究会「ドイツにおける終身刑について」
10. 30 ● 法学会特別研究会「非行少年に対する保護処分と強制の契機—少年法を読み直す」
10. 31 ● 法学会特別研究会「私法学のヨーロッパ化—私の歩んだ道と進む道」
11. 7 ● 法学会特別研究会「不可抗力とハードシップにおける免責—CISGおよび、PICC、PECL、DCFR」
12. 15 ● 法学会研究会「アメリカ社会思想の現在」
-
2009. 1. 16 ● 法学会特別研究会「韓国民法における債務不履行責任体系の発展—債務不履行類型三分論の形成を中心に」
2. 3 ● 法学会研究会「受刑者の人権保障論とその具体化」
2. 4 ● 落合雄彦短期国外研究員(シエラレオネ)
3. 12 ● 2008年度卒業証書授与式(法律学科375名、政治学科107名、計482名)
3. 14 ● 2008年度学位記授与式(法学修士20名、法学博士1名、計21名)
3. 25 ● 平野孝退職
3. 29 ● 赤池一将国外研究員(フランス)
4. 1 ● 2009年度入学式(法律学科349名、政治学科116名、編転入12名、再入学1名、計478名)
- 2009年度大学院入学式(修士課程28名、博士後期課程3名、計31名)
 - 松本博之・斎藤司着任
太田眞一・中村順一・長谷川永・板東正男・松井忠義・山田充忠客員教授採用
 - 石田徹社会科学研究所より法学部へ移籍、鈴木龍也法学部より社会科学研究所へ移籍
 - 平野孝名誉教授称号授与
 - 小室昌志法学部教務課長に就任
4. 9 ● 法学会特別研究会「過失の共同正犯？」
5. 2 ● 法学会特別研究会「刑法における補充性原則の現代的意義について」「仮定的承諾—新たな法形象！」
5. 14 ● 法学会特別研究会「ヨーロッパ私法における一般的法原則—ヨーロッパの多層システムにおける統一的方法論のための試論」
6. 18 ● 法学会特別研究会「強行法規、および基本的自由、ヨーロッパ契約法」

2009. 7. 29 ● 法学会特別研究会「近時の韓国家族法改正について—新しい身分登録制度を中心に」
8. 4 ● 法学会特別研究会「Post-2012 Climate Regime and the Role of Carbon Financing」
8. 11 ● 岩田貢短期国内研究員(龍谷大学)
9. 1 ● Paul D. Jaffe特別研究員(カナダ)
9. 5 ● 無料法律相談 in 岡山(～6)
9. 17 ● 2009年度9月卒業証書授与式(法律学科14名、政治学科6名、計20名)
 ● 2009年度9月学位記授与式(法学修士2名)
 ● 2009年度第2学期入学式(法律学科1名)
 ● 2009年度第2学期大学院入学式(修士課程1名、博士後期課程1名、計2名)
10. 7 ● 法学会特別研究会「ヨーロッパでの法平準化の流れにおける水平化指令提案」
12. 15 ● 法学会特別研究会「ヨーロッパにおけるメディエーション指令と国内法化」
12. 21 ● 法学会特別研究会「オバマ政権のアメリカ」
-
- 2010 1. 19 ● 萬井隆令教授定年退職記念最終講義「私と労働法」
2. 4 ● 法学会特別研究会「刑事司法過程における薬物依存治療プログラムの意義—『回復』をめぐる権利と義務」
2. 5 ● 岩田貢短期国内研究員(龍谷大学)
3. 6 ● 廣原盛明教授定年退職記念最終講義「私の人生と研究生生活」
3. 15 ● 上垣豊特別研究員(龍谷大学)
3. 18 ● 2009年度卒業証書授与式(法律学科356名、政治学科130名、計486名)
3. 20 ● 2009年度学位記授与式(法学修士22名、法学博士1名、計23名)
3. 31 ● 森山浩江・孕石孟則・廣原盛明退職
4. 1 ● 2010年度入学式(法律学科368名、政治学科115名、編転入10名、計493名)
 ● 2010年度大学院入学式(修士課程29名)
 ● 吉岡祥充・深尾昌峰・堀尾正躬着任
 太田眞一・中村順一・長谷川永・板東正男・松井忠義・山田充忠客員教授採用
 ● 鈴木龍也社会科学研究所より法学部へ移籍、西倉一喜法学部より社会科学研究所へ移籍
 ● 近藤久雄特別研究員(龍谷大学)
 ● 鈴木龍也法学部長就任
 ● 武久征治法学研究科長就任
4. 10 ● 法学会特別研究会「フランスにおける犯罪者の社会復帰と現場の課題」
4. 16 ● 法学会特別研究会「ヨーロッパ消費者契約法とハンガリー私法における新種の契約類型」
6. 24 ● 法学会特別研究会「布川事件再審公判を前にして」
7. 18 ● 法学会特別研究会「集团的消費者被害制度」
7. 22 ● 坂本勝短期国外研究員(イギリス)
8. 9 ● 岩田憲幸短期国外研究員(中国)
8. 28 ● 玄守道国外研究員(ドイツ)
9. 1 ● 中山薫二国外研究員(イギリス)
9. 4 ● 無料法律相談 in 広島(～5)
9. 17 ● 2010年度9月卒業証書授与式(法律学科15名、政治学科10名、計25名)
 ● 2010年度9月学位記授与式(法学修士2名)
 ● 2010年度第2学期大学院入学式(博士後期課程1名)
9. 23 ● 法学会特別研究会「ヨーロッパ消費者私法の展開—完全平準化の問題点」
9. 30 ● 西田幸介退職
11. 3 ● 法学会特別研究会「ヨーロッパ消費者法の平準化とその実効化」
11. 19 ● 法学会特別研究会「ヨーロッパにおける消費者信用法の展開」
11. 29 ● 法学会特別研究会「ヨーロッパにおける損害賠償法改革・各論」
12. 9 ● 法学会特別研究会「沖縄の基地問題」
12. 20 ● 法学会特別研究会「新しい行刑構想に参画して—島根あさひ社会復帰促進センターの日々を振り返る」
-
- 2011 2. 1 ● 法学会特別研究会「懲罰的損害賠償の基礎的研究—懲罰的損害賠償史論から見た『懲罰的』要素の意義」
2. 28 ● 法学会特別研究会「ヨーロッパレベルで見るドイツ不法行為法」
3. 9 ● 岩田憲幸短期国外研究員(中国)
3. 10 ● 橋口豊国外研究員(イギリス)
3. 17 ● 2010年度法学部卒業証書授与式(法律学科349名、政治学科131名、計480名)
3. 19 ● 2010年度学位記授与式(法学修士22名、法学博士1名、計23名)
3. 31 ● 高村ゆかり・辻本勲男退職
4. 1 ● 2011年度入学式(法律学科419名、編転入8名、計427名)
 ● 2011年度大学院入学式(修士課程26名、博士課程1名、計27名)
 ● 矢野昌浩・山田卓平・栗田昌裕・中島琢磨・濱口晶子・石塚武志着任
 辻本勲男・中村順一・長谷川永・板東正男・松井忠義・宮内利正法学部客員教授採用

-
2011. 4. 1 ● 西倉一喜社会科学研究所より法学部へ移籍、稲垣宏明法学部より社会科学研究所へ移籍
- 井上善幸文学部より法学部へ移籍
 - 石田徹・北川秀樹・坂本勝・白石克孝・富野暉一郎・土山希美枝・深尾昌峰・村田和代・谷垣岳人・堀尾正毅法学部より政策学部へ移籍
 - 辻本勲男名誉教授称号授与
 - 金子眞也特別研究員（龍谷大学）
 - 鈴木眞澄法学部長就任
4. 18 ● 法学会特別研究会「フランス刑事司法における近年の動きと課題」
4. 23 ● 法学会特別研究会「The Lisbon Treaty and its influence on consumer law and civil law」
5. 19 ● 法学会特別研究会「要保護少年・非行少年の社会復帰と民事・刑事の対応－フランスの取組み」
6. 15 ● 法学会特別研究会「行政計画の司法的統制」
7. 13 ● 法学会特別研究会「国際法における緊急避難」
9. 1 ● 元山健国内研究員（龍谷大学）
9. 16 ● 2011年度9月法学部卒業証書授与式（法律学科15名、政治学科8名、計23名）
- 2011年度第2学期大学院入学式（修士課程1名）
11. 6 ● 法学会特別研究会「消費者法の法典化の是非」
11. 7 ● 法学会特別研究会「ヨーロッパ私法のモデルとしての国際私法のヨーロッパ化」
-
2012. 1. 20 ● 平野武教授定年退職記念最終講義「研究生生活を振り返って」
2. 9 ● 武久征治教授定年退職記念最終講義「龍谷大学での35年」
3. 15 ● 2011年度法学部卒業証書授与式（法律学科323名、政治学科113名、計436名）
3. 17 ● 2011年度学位記授与式（法学修士15名）
3. 31 ● 桂文子・武久征治・平野武・Paul D. Jaffe退職
- 法学会特別研究会「可罰的近親相姦（ドイツ刑法173条）の正統化への疑問について」
4. 1 ● 2012年度入学式（法律学科458名、編転入10名、再入学1名、計469名）
- 2012年度大学院入学式（修士課程12名）
 - 今川嘉文・寺川史朗・川島伸博・古川原明子・森勝治着任
 - 野口雅昭・長谷川永・板東正男・松井忠義・宮内利正・安原浩客員教授採用
 - 稲垣宏明社会科学研究所より法学部へ移籍、高橋進法学部より社会科学研究所へ移籍
 - 赤池一将法学部長就任
 - 脇田滋法学研究科長就任
 - 桂文子・武久征治・平野武名誉教授称号授与
4. 5 ● 法学会研究会「刑務所における死－受刑者のハンガーストライキ」
5. 19 ● 法学会研究会「オーストリア一般民法典とその現代化－契約法の改革」
5. 20 ● 法学会研究会「The Integration of Swedish Consumer Law in the EU: A Two-Way Street」
5. 30 ● 法学会研究会「沖縄返還交渉における核兵器撤去問題－日米共同声明第8項の作成過程を中心として」「イギリス社会の現状について」
6. 13 ● 法学会研究会「いま振り返る沖縄返還－国民の「知る権利」と基地問題」
7. 11 ● 法学会研究会「連合王国最高裁と人権の擁護」
8. 7 ● 佐藤和弘短期国外研究員（ドイツ）
9. 1 ● 無料法律相談 in 高知（～2）
- 神吉正三国内研究員（龍谷大学）
9. 19 ● 2012年度9月卒業証書授与式（法律学科14名、政治学科7名、計21名）
- 2012年度9月学位記授与式（法学修士2名）
9. 20 ● 2012年度第2学期入学式（法律学科1名）
10. 13 ● 法学会研究会「憲法と現代－いま、法律家に求められること」
10. 17 ● 法学会研究会「東日本大震災・原発事故と住民生活の再建」
10. 24 ● 法学会研究会「著作権法における権利論の意義と射程」
12. 11 ● 法学会研究会「韓国と日本の死刑」
-
2013. 1. 17 ● 川端正久教授定年退職記念最終講義「アフリカ研究徒然草」
2. 6 ● 佐藤和弘短期国外研究員（ドイツ）
3. 1 ● 法学会研究会「研究生生活をふりかえって－保育所裁判・在外被爆者裁判を中心として」
3. 7 ● 法学会研究会「集団的権利救済」
3. 14 ● 2012年度卒業証書授与式（法律学科308名、政治学科111名、計419名）
3. 16 ● 2012年度学位記授与式（法学修士20名）
3. 31 ● 川端正久退職
4. 1 ● 2013年度入学式（法律学科424名、編転入5名、計429名）
- 2013年度大学院入学式（修士課程8名、博士課程3名、計11名）
 - 渡辺博明・山崎英恵着任
 - 玉置秀司・野口雅昭・長谷川永・板東正男・松井忠義・松田慎一客員教授採用
-

2013. 4. 1 ● 高橋進社会研究所より法学部へ移籍、落合雄彦法学部より社会科学研究所へ移籍
● 川端正久名誉教授称号授与
4. 7 ● 法学会研究会「EU法およびEU競争法」
5. 1 ● 法学会研究会「ジャーナリストが見た福島第一原発事故」
6. 11 ● 法学会研究会「原発被災地の現状と法的救済の課題」
6. 17 ● 法学会研究会「臨死介助について」
8. 9 ● 西倉一喜短期国外研究員（アメリカ）
8. 10 ● 若林三奈特別研究員（ドイツ）
8. 31 ● 無料法律相談 in 金沢（～9.1）
9. 19 ● 2013年度9月卒業証書授与式（法律学科17名、政治学科3名、計20名）
2012年度9月学位記授与式（法学修士4名、法学博士1名、計5名）
10. 8 ● 法学会研究会「刑事司法における素人ードイツにおける現在の議論」
10. 22 ● 法学会研究会「フランス少年非行政策と新しい少年法」
10. 23 ● 法学会研究会「現代教養論と総合人間学、あるいは法学と教育学」
10. 25 ● 法学会研究会「CISGの最近の展開」
10. 26 ● 法学会研究会「法政策をめぐる日韓共同フォーラムー経済構造の変化と社会法政策」
11. 1 ● 法学会研究会「マレーシアにおける消費者保護の展開」「マレーシアにおける製造物責任法の展開」
「マレーシアにおける消費者契約ー不公正な消費者契約条項の法的な取扱いに焦点を当てて」「マレーシアにおける消費者金融」
11. 27 ● 法学会研究会「会社法の施行と商事法研究者の情報発信力の変化ー「旬刊商事法務」誌の分析をとおして」
-
- 2014 1. 14 ● 法学会研究会「刑事司法の諸問題ーえん罪被害者の立場から」
1. 29 ● 法学会研究会「日本におけるイギリス憲法研究ーイギリス憲法の歴史と原理に関する試・私論的なまとめ」
2. 12 ● 西倉一喜短期国外研究員（アメリカ）
3. 13 ● 2013年度卒業証書授与式（法律学科305名、政治学科107名、計412名）
3. 15 ● 2013年度学位記授与式（法学修士13名、法学博士2名、計15名）
3. 20 ● 斎藤司国外研究員（ドイツ）
3. 31 ● 松本博之・石井幸三・元山健退職
4. 1 ● 2014年度入学式（法律学科440名、編転入7名、再入学1名、計448名）
● 2014年度大学院入学式（修士課程13名、博士課程2名、計15名）
● 島純・橋本祐子・Sharif Mebed・大森健着任
今木隆雄・玉置秀司・野口雅昭・長谷川永・板東正男・松井忠義・松田慎一客員教授採用
● 落合雄彦社会科学研究所より法学部へ移籍、栗田昌裕法学部より社会科学研究所へ移籍
● 池田恒男特別研究員（龍谷大学）
● 吉岡祥充法学部長就任
● 高橋進法学研究科長就任
● 石井幸三・元山健名誉教授称号授与
6. 28 ● 法学会シンポジウム「法曹と法学教育の未来」
6. 30 ● 法学会研究会「近著「Contrasts in Punishment」(2013・Routledge)について 北欧と英米圏（主として英国・オセアニア）の刑罰のあり方の違いがどこから生まれるのかについての分析」
8. 6 ● 山田卓平国外研究員（イギリス）
9. 1 ● 鈴木眞澄特別研究員（龍谷大学）
9. 6 ● 無料法律相談 in 奈良（～7）
9. 18 ● 2014年度9月卒業証書授与式（法律学科21名、政治学科5名、計26名）
● 2014年度第2学期大学院入学式（修士課程1名）
12. 2 ● 法学会研究会「中国の軍事改革」
12. 3 ● 法学会研究会「復讐と刑罰ー復讐・応報感情からの一考察」
-
- 2015 1. 9 ● 赤池一将短期国外研究員（フランス）
3. 19 ● 2014年度卒業証書授与式（法律学科358名、政治学科7名、計365名）
3. 21 ● 2014年度学位記授与式（法学修士10名）
3. 31 ● 森勝治退職
4. 1 ● 2015年度入学式（法律学科449名、編転入5名、再入学1名、計455名）
● 2015年度大学院入学式（修士課程9名、博士課程2名、計11名）
● 丹羽徹着任
今木隆雄・玉置秀司・長谷川永・板東正男・松井忠義・松田慎一客員教授採用
● 島純・山崎英恵法学部より農学部へ移籍
● 栗田昌裕社会科学研究所より法学部へ移籍、玄守道法学部より社会科学研究所へ移籍
● 井上善幸国外研究員（ドイツ）
4. 4 ● 法学会研究会「強行的契約法」

2015. 4. 19 ● 法学会研究会「ドイツにおける消費者権利指令の国内法化」
6. 11 ● 法学会公開研究会「刑事司法に新時代は来るのかーいかに改革を実現するのかを考える」
6. 15 ● 法学会研究会「袴田事件の現状と課題ー証拠捏造と科学鑑定」
7. 8 ● 法学会研究会「韓国の差別救済制度の現状と課題」
8. 4 ● 中山薫二退職
● 法学会研究会「エジプト革命におけるソーシャル・メディアの役割」
8. 7 ● 河合美香短期国外研究員（アメリカ）
9. 5 ● 無料法律相談 in 鳥取（～6）
9. 17 ● 2015年度9月卒業証書授与式（法律学科22名、政治学科1名、計23名）
9. 30 ● 法学会研究会「国際的視野に立ったキャリア形成のための心得」
11. 8 ● 法学会研究会「2015年イギリス消費者権利法から学ぶ消費者法改革」
11. 18 ● 法学会主催講演会「被害者から見た社会の理不尽さ」
-
- 2016 1. 19 ● 西倉 一喜 教授定年退職記念最終講義「米中関係と私」
2. 4 ● 河合美香短期国外研究員（オーストラリア）
2. 18 ● 法学会研究会「立ち上がるアフリカー平和と安全保障への影響」
3. 16 ● 法学会研究会「中国の行政訴訟法改正と法整備支援」
3. 17 ● 2015年度卒業証書授与式（法律学科415名、政治学科2名、計417名）
3. 19 ● 2015年度学位記授与式（法学修士11名）
3. 29 ● 法学会研究会「現代刑事法学の課題ードイツの視点、日本の視点」
3. 31 ● 窪田通雄・西倉一喜退職
● 佐藤和弘特別研究員（龍谷大学）
4. 1 ● 2016年度入学式（法律学科399名、編転入6名、計405名）
● 2016年度大学院入学式（修士課程9名）
● 濱中新吾・松畑尚子着任
今木隆雄・玉置秀司・長谷川永・板東正男・松井忠義・松田慎一・渡部和男客員教授採用
● 玄守道社会科学研究所より法学部へ移籍、濱口晶子法学部より社会科学研究所へ移籍
● 落合雄彦特別研究員（龍谷大学）
● 窪田通雄、西倉一喜名誉教授称号授与
● 橋口豊法学部長就任
● 赤池一将法学研究科長就任
6. 20 ● 法学会研究会「大崎事件再審請求の現状と問題点」
7. 20 ● 法学会研究会「懲罰的損害賠償の現代的展開」
7. 29 ● 古川原明子短期国外研究員（アメリカ）
9. 3 ● 無料法律相談 in 和歌山（～4）
9. 7 ● 鈴木龍也国外研究員（イギリス）
9. 16 ● 2016年度9月卒業証書授与式（法律学科19名、政治学科1名、計20名）
● 2016年度9月学位記授与式（法学修士2名）
11. 18 ● 法学会研究会「EU公法とイギリスーBrexitの視点を踏まえて」
11. 22 ● 法学会研究会「刑事訴訟法改正の問題点ー冤罪被害者の立場から」
11. 28 ● 法学会研究会「自動運転と法について」
-
- 2017 1. 20 ● 池田恒男教授定年退職記念最終講義「日本民法の歴史的特質と日本の未来」
3. 10 ● 脇田滋教授定年退職記念最終講義「人間らしく働き暮らせる社会の実現を目指してー研究・教育40年を振り返る」
3. 14 ● 法学会研究会「国家と宗教の一断面ー靖国神社公式参拝問題について」
3. 16 ● 2016年度卒業証書授与式（法律学科379名）
3. 18 ● 2016年度学位記授与式（法学修士8名）
3. 21 ● 吉岡祥充国内研究員（龍谷大学）
3. 31 ● 池田恒男・岩田憲幸・近藤久雄・脇田滋退職
4. 1 ● 2017年度入学式（法律学科440名、編転入3名、計443名）
● 2017年度大学院入学式（修士課程10名）
● 木下秀雄・中野寛之・野々上敬介・堀清史・伊藤貴祥・内田有紀・大森健・末永敏和着任
今木隆雄・竹下義樹・玉置秀司・長谷川永・松井忠義・松田慎一・渡部和男客員教授採用
● 石崎学・石塚伸一・川角由和・金尚均・越山和広・中田邦博・浜井浩一・福島至・本多滝夫・諸根貞夫大学院法務研究科より法学部へ移籍
● 濱口晶子社会科学研究所より法学部へ移籍、若林三奈法学部より社会科学研究所へ移籍
● 河村尚志特別研究員（龍谷大学）
● 池田恒男・岩田憲幸・近藤久雄・脇田滋名誉教授称号授与
4. 9 ● 法学会研究会「ヨーロッパにおけるポピュリズムとヘイトスピーチ規制」
4. 22 ● 法学会研究会「ルクセンブルクにおける消費者法クリニックについてー比較法的考察」

2017. 4. 22 ● 龍谷講座：法学部創設50周年記念公開講座『日本国憲法を考える』 「日本国憲法における平和主義」
5. 20 ● 龍谷講座：法学部創設50周年記念公開講座『日本国憲法を考える』 「日本国憲法における民主主義」
6. 1 ● 田中秀樹法学部教務課長に就任
6. 3 ● 法学部創設50周年記念講演会 五木寛之氏「いまを生きる力」
6. 6 ● 法学会研究会「袴田事件・再審請求の現状と問題点」
6. 24 ● 龍谷講座：法学部創設50周年記念公開講座『日本国憲法を考える』 「日本国憲法における人権保障」
7. 7 ● 法学部創設50周年記念キャリア啓発講演会「龍谷大学法学部生のキャリア形成」
8. 11 ● 岩田貢短期国内研究員（龍谷大学）
9. 3 ● 無料法律相談 in 米原
9. 19 ● 2017年度9月卒業証書授与式（法律学科24名）
9. 30 ● 矢野昌浩・栗田昌裕退職
12. 2 ● 法学部創設50周年記念シンポジウム「グローバル化時代における人権と民主主義」・記念式典
-

